

# 石井町総合戦略評価シート

(評価対象年度:平成29年度)

作成者:石井町総合政策課

【評価シートについて】

○この評価シートは、平成29年3月に策定した石井町総合戦略に位置づけられた施策について、KPI等により評価・検証し、必要に応じた総合戦略の改定を実施するために作成したものです。

○H29取組内容と進捗状況・課題欄には、主な取組の成果や課題等を記入しています。

○今後の取組方針欄には、平成29年度の実績見込み、平成30年度以降の施策の取組方針を記入しています。

○自己評価欄は、H29取組内容と進捗状況により、H29年度における施策の担当課における自己評価を記入しています。

自己評価の基準	A: 事業内容は適切である B: 事業内容は適切だが、課題が少しあり、事業の一部見直しが必要 C: 課題が多く、事業やKPIの大幅な見直しが必要 D: 事業の休・廃止を含めた検討が必要
---------	---

全体評価	施策数: 45項目 A評価: 23項目 B評価: 22項目
------	-------------------------------------

○KPIについては実績値(H29)により目標数値の達成度を評価しています。

数値目標の評価基準	◎: 数値目標を超える成果があった ○: 数値目標を概ね達成できた △: 目標には達しなかったものの成果はあった ×: まったく目標に達しなかった —: その他
-----------	--

全体評価	KPI数: 49項目 ◎: 19項目 ○: 8項目 △: 21項目 ×: 1項目 —: 0項目
------	--

【基本目標 1】子どもを産み育てやすい環境と移住・定住の促進

番号	数値目標	工程（年度別事業計画）					実績値 (H27)	数値目標 の達成度		担当課
		H27	H28	H29	H30	H31				
1	子育てしやすいまちだと思ふ人の割合 81.8% (H26) →85% (H31)	/	/	/	/	/	81.8% (H26)	—	<報告数値について> 石井町子ども子育て支援事業計画アンケート調査 <次回の計画策定及びアンケートの実施時期について> ①次回の計画策定予定年度：平成31年度 ②アンケート調査の実施時期：平成30年12月ごろ	子育て
2	転入者-転出者の数 -51人 (H26) →90人 (H27～H31累計)	/	/	/	/	/	-6人 (H27)	—	<報告数値について> 人口移動統計調査（年報）報告数値 ①男（転入410人、転出418人）女（転入435人、転出433人）③県内（転入558人、転出489人）・ 県外（転入285人、転出330人）、職権（記載2件、削除32件）	住民

【基本目標 2】暮らしやすい生活環境の形成

番号	数値目標	工程（年度別事業計画）					実績値 (H27)	数値目標 の達成度		担当課
		H27	H28	H29	H30	H31				
	「住みやすい」と答えた人の割合 76.2% (H27) →80% (H31)	/	/	/	/	/	76.2%	—	<報告数値について> 人口ビジョン及び総合戦略町民アンケート調査 <次回の計画策定及びアンケートの実施時期について> ①次回の計画策定予定年度：第2次石井町総合戦略（H31）、第5次石井町総合発展計画（H31～ H32） ②アンケート調査の実施時期：平成31年度	総務

【基本目標 3】産業の振興と雇用の場の創出

	数値目標	工程（年度別事業計画）					実績値 (H27)	数値目標 の達成度		担当課
		H27	H28	H29	H30	H31				
1	町内事業所従業員（民営事業所） 8,479人 (H26) →8,500人 (H31)	/	/	/	/	/	8,479 (H26)	—	<報告数値について> 経済センサス（基礎調査・活動調査）（平成26年7月1日調査）  <調査スケジュール及び結果公表の時> ①H28～H31までの調査スケジュール：平成28年6月1日調査、平成31年7月1日調査 ②調査結果の公表時期：平成30年8月ごろ、平成33年4月ごろ	財政
2	経営面積1ha以上の農業経営体数の割合 28.7% (H22) →30% (H31)	/	/	/	/	/	32.0% (H27)	—	<報告数値について> 農林業センサス（平成27年2月1日調査） <調査スケジュール及び結果公表の時期> ①H28～H31までの調査スケジュール：平成32年2月1日調査 ②調査結果の公表時期：平成33年3月ごろ	財政

基本目標1 子どもを産み育てやすい環境と移住・定住の促進

項目	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					H29取組内容と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価	
		H27	H28	H29	H30	H31					
結婚希望の実現	<p>1) 新婚世帯への経済的支援 若い世代の結婚希望を実現するため、新婚世帯に対し家賃補助等による経済的支援を行い、新婚世帯の定住、町外からの転入を促進します。</p> <p>・石井町新婚世帯家賃補助金</p>						<p>&lt;H29取組内容と進捗状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新婚世帯家賃補助金76件(うち加算対象世帯37件)</li> <li>※加算対象世帯・・・夫婦ともに町外から転入、または転入から3か月以内に婚姻</li> <li>・新婚夫婦のいずれもが婚姻の届出の日現在において40歳未満であることが条件である。</li> <li>・パンフレットを作成し、役場窓口を設置した。</li> <li>・広報いい、ホームページ、石井アプリ、よくわかる！石井町、移住パンフレット等により周知を図る。</li> <li>・婚姻届出数 107件(H29.4～H30.3)</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金の受給期間終了後、石井町にとどまらず、町外へ転出する者がいる。引き続き石井町に住み続けてもらうため、魅力的な町づくりが課題となる。</li> </ul> <p>&lt;H29→H30戦略の改善見直し箇所&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受給期間は24箇月であったが、H30年度の申請者から、補助金の支払いはH31年度末までに変更した。</li> </ul>	<p>・新規受付は平成30年度までとする。また補助金の支払いはH31年度までとする。</p> <p>・家賃補助金の財源を子育て支援対策等に回すことにより、本事業により石井町に移住・定住された子育て世代が、引き続き石井町に住み続けられることを狙う。</p>	総政	A	
		<p>【KPI】 婚姻届出数 100件(H26) → 105件/各年(H31)【H29.3月変更】</p>	計画値	—	105件	105件	105件	105件	<p>・KPIである婚姻届出数は107件であり、目標達成することができた。</p>	住民	/
			実績値	119件	95件	107件					
	数値目標の達成度	◎	△	◎							
子育て支援の充実	<p>1) 母子保健対策の推進 妊娠中の母体の健康管理対策や、ライフサイクルに応じた母子保健対策を推進します。また、産後の育児不安の軽減による母親の孤立化の防止や、虐待予防対策の充実等により、子どもの健やかな成長を支援します。</p> <p>・妊婦・乳幼児健康診査事業 ・乳児家庭全戸訪問・養育支援訪問事業 ・1歳6カ月児・3歳児健康診査事業 ・育児支援事業(育児不安や発達に関する相談等)</p>						<p>&lt;H29取組内容と進捗状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠届出数:150件(内2件多胎)</li> <li>・乳児健診受診者数:157人</li> <li>・1歳6か月健康診査受診者数:204人、受診率97.6%</li> <li>・3歳児健康診査受診者数:188人、受診率93.5%</li> <li>・歯科継続健診受診者数:937人</li> <li>・股関節脱臼検診受診者数:274人</li> <li>・妊婦一般健康診査受診延人数:1,843人、要精検者14人</li> <li>・多胎妊婦超音波検査受診件数:1件</li> <li>・乳児一般健康診査受診延人数:278人、要精検者5人</li> <li>・発達相談延件数:42件</li> <li>・乳児家庭全戸訪問件数(低出生体重児含む):148件</li> <li>・養育支援訪問延件数:22件</li> </ul> <p>・妊娠期から5歳までの継続した健康診査・健康相談により、母子の健康保持増進を図ることができた。また、早期介入を行うため、3歳児健康診査に言語聴覚検査を実施。言語、認知、構音、聴覚、行動の全体的な発達を確認し、児の把握・フォローをしていくことができた。</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聴覚障がいや早期に発見し適切な援助を開始することを目的に、平成30年度から県下統一で、新生児聴覚検査受診票を交付し助成を行う必要がある。</li> </ul> <p>&lt;H29→H30戦略の改善見直し箇所&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年4月1日以降に生まれる児に新生児聴覚検査受診票を交付し、医療機関等に委託し新生児聴覚検査を実施する。</li> </ul>	<p>・これまでの取組を継続しつつ、妊娠期から5歳までに実施している各種健診により、継続した健康相談・健康診査によって、母子の健康保持増進を図る。</p> <p>・平成30年度からは県下統一で聴覚障がいを早期に発見し適切な援助を開始することを目的に平成30年4月1日以降に生まれる児に新生児聴覚検査受診票を交付し助成を行う。</p>	健増	B	

基本目標1 子どもを産み育てやすい環境と移住・定住の促進

項目	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					H29取組内容と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		H27	H28	H29	H30	H31				
子育て支援の充実	1 子育て環境の整備									
	2) 子育て支援事業の充実 子ども子育て支援新制度に基づき相談支援体制の確立や、多様なニーズに応えるための子育て支援サービスの充実により、子育てしやすい環境づくりに努めます。また、幼稚園での預かり保育の実施や未就園児への園開放による交流機会の充実、放課後児童クラブ・放課後子ども教室等の支援により、働きながら子育てしやすい環境の整備を図ります。	実施	→	→	→	→	<H29取組内容と進捗状況> ・地域子育て支援拠点事業利用者延人数:11,324人 ・徳島ファミリーサポートセンター事業利用者利用件数:451件 ・一時保育事業利用者延人数:2,421人 ・病児保育事業利用者延人数:1,291人 ・放課後児童対策事業利用児童数:296人 ・放課後子ども教室利用児童数:66人 ・地域子育てネットワーク推進事業(みらいフェスタinいしい参加者:1,500人、親子クリスマス会参加者:500人) ・各種施策に取り組み子育てしやすい環境作りに努めた。 ・年度末に子育てハンドブック「tsunagu」(つなぐ)を作成、配付開始。 <課題> ・平成27年度から施行された子ども・子育て支援新制度への対応を継続し、住民ニーズを把握するとともに、国の制度改革や県、他市町村の動向も注視しつつ施策を推進していく必要がある。 <H29→H30戦略の改善見直し箇所> ・要保護児童対策地域協議会の実務者会議を定期的に開催するとともに、有識者や専門機関の意見を踏まえ、増加傾向にある要保護児童に対する適切な支援・保護の在り方についての協議を深めている。 ・継続して事業を推進していく。	・事業を継続するとともに、最新の情報をHP、CATV、いしいアプリ、インスタグラム等を利用して子育て支援情報を発信する。 ・母子手帳配付時などの機会をとらえ、子育て世帯に子育てハンドブックを配付し、各種子育て支援事業についての情報提供に努めていく。 ・H32に向けた「石井町第二期子ども・子育て支援事業計画」の策定作業をH30、H31年度の2ヶ年で実施する。	子育て	B
	3) 保育施設の整備 子どもへの望ましい教育・支援のあり方を見据え、幼稚園と保育園が連携し、多様な子育てのニーズに応えることのできる施設の整備を目指します。加えて、学童保育の利用希望者の増加に対応するための施設整備を実施します。	実施	→	→	→	→	<H29取組内容と進捗状況> ・石井西こども園整備事業により、H29.4.1、石井西幼保連携施設(1階:町立高原保育所、2階:町立高原幼稚園)を開所し、老朽化した旧高原保育所・旧高原幼稚園施設をそれぞれ解体撤去することで、施設環境を改善している(保育定員増減無し)。 ・町補助事業(認定こども園整備費補助金活用)により、事業者が私立さくら認定こども園新築移転工事を実施。新しい施設をH30年1月より運用開始している。これにより保育定員10名増(1)。 ・町補助事業(保育所等整備交付金活用)により、事業者が私立気延のもりの保育園(新規)の新築工事を実施(H30.4.1開園)。これにより新たに保育定員90名確保(2)。 ・老朽化した町立石井保育所を閉所(H30.3.31)。保育定員60名の減(3)。 ・(1)+(2)-(3)によりトータル保育定員40名の増(H30.4.1より) <課題> ・H29より町立保育所の受入対象を3歳児以下に限定(4・5歳児は町立幼稚園へ)し、町立保育所の乳幼児受入数の拡大を図っている(※私立は施設により5歳児まで受入)。 このことと、上記の保育施設整備による保育定員増により、H30.4.1現在においては待機児童の発生を回避できている。 ・学童保育の利用希望者が増加している。 <H29→H30戦略の改善見直し箇所> ・保育施設の利用ニーズを見ながら、今後の施設整備を検討していく。	・H29年度以降、町立保育所は3歳児までの利用を原則とし、乳幼児の受け入れに重点を置いている。 ・閉所した町立石井保育所施設をH30年度内に解体撤去する。 ・学童保育の利用希望者の増加に対応するため、以下の施設整備をH30年度内に完了する。 ①高原学童保育の専用施設を小学校の隣地に整備する。 ②石井学童保育の既存専用施設に増築工事を行う。 ・他地区の学童保育の施設整備を検討する。	子育て	A
	【KPI】乳児家庭全戸訪問事業実施率 98.3%(H26) → 100%(H31)	計画値	98.6%	99.0%	99.4%	99.8%	100%	・KPIである乳児家庭全戸訪問事業実施率は97.4%であり、目標達成することができなかった。(ただし、年度内に実施できなかった訪問については、H30年度に持ち越しH30.5月時点で完了した。)	健増	/
		実績値	96.0%	99.4%	97.4%					
		数値目標の達成度	△	◎	△					

基本目標1 子どもを産み育てやすい環境と移住・定住の促進

項目	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					H29取組内容と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		H27	H28	H29	H30	H31				
子育て支援の充実 2 経済的支援	【KPI】幼保関連施設の整備数 －(H26) → 2箇所(H31)	計画値	—	1箇所	—	—	2箇所	・高原地区における石井西幼保連携施設(高原幼稚園・高原保育所)の整備が計画通り完成した。 ・H30年度末までに老朽化した石井幼稚園の新園舎完成を目指す。 (「幼保関連施設の整備数」は町立施設数のみ記載)	子育て学教	/
	実績値	—	1箇所	—	—					
	数値目標の達成度	○	◎	○						
	1) 子育て世帯への経済的支援 児童手当、中学生まで医療費の助成、子育て応援祝金等、子育て家庭の経済的負担の軽減を図るための支援を行います。また、子どもを持つことを希望し、不妊治療に取り組む方に対し、治療にかかる費用の一部を助成します。  ・児童手当費・児童扶養手当 ・子どもはぐくみ医療費助成事業(補助分、町単分) ・石井町子育て応援祝金支給事業(出産祝金、ひとり親世帯に対する入学支度金) ・保育所保育料第2子半額又は全額免除、第3子以降全額免除 ・石井町立幼稚園保育料第2子減免半額又は全額免除、第3子以降全額免除 ・このとり応援事業 ・放課後児童クラブ利用料軽減事業	推進	→	→	→	→	<H29取組内容と進捗状況> ・特定不妊治療費助成事業(H30~このとり応援事業に名称変更):助成実人員9人(延人員18人) ・児童手当:支給対象者延人数34,541人 ・子どもはぐくみ医療助成事業:受給件数53,236件、療養費件数:1,061件 ・子育て応援祝金(出産祝金:141件、ひとり親世帯に対する入学支度金:50件) ・児童扶養手当:受給資格者数259名 ・保育所保育料第2子半額免除対象者数:44人 " 第2子全額免除対象者数:135人 (第1子が小学校就学前である場合の第2子保育料を全額免除、第1子が小学生以上18歳未満である場合の第2子保育料を半額免除)(第1子が18歳未満である場合の第3子以降全額免除) ・幼稚園保育料第2子半額免除対象者数:25人 " 第2子全額免除対象者数:106人 " 第3子全額免除対象者数:29人 (第1子が小学校3年生までである場合の第2子保育料を全額免除、第1子が小学校4年生から18歳未満までである場合の第2子保育料を半額免除、第3子保育料を全額免除) <課題> ・県のこのとり応援事業の所得上限額より少ない。(県730万円未満・町500万円未満) ・県のこのとり応援事業の動向を踏まえ、不妊治療費助成による経済的支援の継続を図る必要がある。 ・事業の周知啓発を図る。 <H29→H30戦略の改善見直し箇所> ・特定不妊治療費助成事業から「このとり応援事業」への名称変更と、所得上限額を徳島県このとり応援事業に合わせ緩和。(夫婦合算額500万円未満→730万円未満) ・保育料軽減の拡大(3歳以上の第2子、右記参照) ・放課後児童クラブ(学童保育クラブ)の利用料減免の実施。	・事業を継続するとともに、最新の情報をHP、CATV、いいアプリ、インスタグラム等を利用して発信していき、働きながら子育てをしやすい環境の整備を図る。 ・H30年度新規事業として放課後児童クラブ(学童保育クラブ)の利用料軽減(生活保護世帯は無料、町民税非課税世帯であってひとり親世帯や障がい者の属する世帯等の場合は1/2軽減)を実施し、保護者の負担を軽減する。 ・3歳以上の第2子保育料について、第1子が18歳未満である場合は無料とする(H30年10月から県の保育料軽減制度が拡大されることに伴い実施するが、本町はH30年9月分保育料より先行実施)	健増 子育て学教	B
	【KPI】 子育ての経済的負担が図られていないと思う割合 9.5%(H27) → 8.0%(H31)【H29.3月変更】	計画値	—	9.2%	8.8%	8.4%	8.0%	・KPIである子育ての経済的負担が図られていないと思う割合は6.0%で計画値を達成している。	子育て	/
	実績値	9.5%	6.0%	6.0%						
	数値目標の達成度	—	◎	◎						
教育の充実 1 子どもの教育環境の充実	1) 豊かで確かな学力の育成 町独自の取り組みである外国人英語指導員による就学前児童に対する英語指導をはじめ、職場体験の実施等のキャリア教育の展開により、子どもの豊かで確かな学力の育成を図ります。  ・語学指導等を行う外国人青年招致事業 ・石井町子ども外国語活動支援事業 ・英語指導助手報酬	推進	→	→	→	→	<H29取組内容と進捗状況> ・ALTによる小中学生に対する授業時間数:720時間 ・外国人英語指導員による運動会などの学校行事の積極的な参加により、外国人や英語に触れる機会を提供している。 ・中学2年生を対象に2日間の職場体験を実施した。 ・子ども議会を開催した。 ・土曜授業では学習発表会等を行うことで、平日の学習時間を確保し、学力の育成を図った。 <課題> ・授業の中では英語を使用するが、学校での学習時間は限られている。いかに英語に触れあう機会を確保するかが課題である。 <H29→H30戦略の改善見直し箇所> ・継続して事業を実施する。	・外国人英語指導委員による学校行事の積極的な参加を増やし、外国人や英語に触れる機会を提供していく。 ・特色ある教育を今後も引き続き提供していく。	学教	A

基本目標1 子どもを産み育てやすい環境と移住・定住の促進

項目	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					H29取組内容と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		H27	H28	H29	H30	H31				
1 子どもの教育環境の充実	<p>2) 学びを支える教育環境の整備 教育環境・教育条件の向上を図るため、耐震改修や施設の点検、情報処理能力育成のための環境整備等により、学校施設の計画的な維持管理・改善に努めます。また、気象変化による猛暑への対応として、各幼稚園、小・中学校への空調整備とともに、ウォーターサーバーの供給を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康管理費(小学校費・中学校費・幼稚園費)</li> <li>小学校施設整備事業・小学校施設補修事業</li> <li>中学校施設整備事業・中学校施設補修事業</li> <li>幼稚園施設整備事業・幼稚園施設補修事業</li> <li>石井幼稚園改築事業</li> <li>小学校、中学校インターネット接続事業</li> <li>理科教育等設備整備費備品購入費(小学校費・中学校費)</li> <li>中学校トイレ改修事業</li> </ul>	推進	→	→	→	→	<p>&lt;H29取組内容と進捗状況&gt; ・石井幼稚園改築工事着手した。 ・高原小学校駐車場整備工事、石井中学校屋内運動場バスケットゴール改修工事等を実施し、教育環境の改善を図った。 &lt;課題&gt; ・各学校からは多くの教育環境の整備箇所の要望があるが、財源の問題もあるため必要性の高いものから計画的に整備を進める必要がある。 ・中学校トイレの環境改善。 &lt;H29→H30戦略の改善見直し箇所&gt; ・継続して学校施設の計画的な整備、維持管理に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校からの教育環境の整備については、限られた財源の中、計画的に整備を進める。</li> <li>平成30年度から中学校トイレの環境改善のための設計に着手し、平成31年度に工事の完了を目指す。</li> </ul>	学教	B
	<p>3) 健やかな体の育成 町独自の取り組みである巡回体育指導員制度を一層充実させ、幼稚園・小学校への巡回体育指導、中学校への運動部活動支援を推進し、子どもの体力向上、教員の指導力向上を図ります。また、老朽化する学校給食センターについて、今後の給食のあり方も含め施設の更新について検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>石井町地域スポーツ振興事業</li> <li>中学校大会参加補助金</li> </ul>	推進	→	→	→	→	<p>&lt;H29取組内容と進捗状況&gt; ・中学校大会参加費補助金件数:3件 ・全国都道府県中学生相撲選手権大会に高浦中学校相撲部が出場。 ・全国中学校体育大会に石井中学校柔道部・バスケットボール部が出場。 ・中学校2年生の体力テストでは、体力合計点について男子は全国平均をわずかながら上回ったが、女子は下回った。 ・藍畑小学校隣地を給食センター建替え用地とする。H30年度に基本設計・実施設計を行う。 &lt;課題&gt; ・体力の向上には、体育授業の「目標の提示」と「振り返り」の習慣化が大切であるが、石井町の中学校では「目標の提示」「振り返り」活動が低いことがわかる。 ・新給食センターに移行するまでの老朽化した給食センターと単独校の給食室の現状維持が必要である。 &lt;H29→H30戦略の改善見直し箇所&gt; ・継続して事業を実施する。 ・給食センターの施設の更新について検討する→建築に向け事業を進める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体力向上はもちろん、基本的な生活習慣の確立を目指していく。</li> <li>学校施設環境改善交付金(学校給食施設)の交付金決定された場合は基本設計・実施設計に従い、建設に向け取り組んでいく。</li> </ul>	学教 社教 給食セ	A
	<p>4) 特別な支援を要する子どもへの教育体制の充実 学校教育全体で、一人ひとりに応じた教育を展開するとともに、特別な支援を要する子どものための教育を強化し、特別支援教育のための指導員の派遣を強化します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育支援員配置事業</li> <li>特別支援教育就学奨励費(小学校費・中学校費)</li> </ul>	推進	→	→	→	→	<p>&lt;H29取組内容と進捗状況&gt; ・特別支援学級に通う費用について、家庭の負担を軽くするために特別支援教育就学奨励費を支給し、経済的支援を行う。・個別の指導計画や個別の教育支援計画を策定し、個々に応じた教育を展開している。 &lt;課題&gt; ・毎年、特別支援を要する児童・生徒が増えている。県費による教職員の増員は無いため、町独自で支援員の雇用が必要である。 &lt;H29→H30戦略の改善見直し箇所&gt; ・継続して事業を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援を要する児童・生徒への支援体制をさらに充実させるため、福祉・保健・医療機関等との連携を深めていく。</li> <li>町独自での支援員の配置を継続する。</li> </ul>	学教	A
	<p>【KPI】小学校を楽しいと思う児童の割合 91.2%(H26) → 90%以上(H31)</p>	計画値	90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・KPIである小学校を楽しいと思う児童の割合は93.7%で目標を達成している。今後も維持していく。</li> </ul>	学教	/
実績値	91.10%	93.04%	93.7%							
数値目標の達成度	○	◎	◎							
<p>【KPI】外国人英語指導により英語に慣れた小学生が多いと思う教師の割合80%(H27)→90%(H31)【H29.3月変更】</p>	計画値	80%	82%	84%	87%	90%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・KPIである外国人英語指導により、英語に慣れた小学生が多いと思う教師の割合は52%で、計画値に届かなかった。</li> <li>・英語指導の時間を楽しみにしている児童の割合は、前年度の96%から100%に増加した。</li> </ul>	学教	/	
実績値	820時間	80%	52%							
数値目標の達成度	△	△	△							

基本目標1 子どもを産み育てやすい環境と移住・定住の促進

項目	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					H29取組内容と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		H27	H28	H29	H30	H31				
1 子どもの 教育環境の 充実	【KPI】学校管理下における熱中症の件数 0件(H26) → 0件(H31)	計画値	0件	0件	0件	0件	0件	・KPIである学校管理下における熱中症の件数は、0件で目標を達成している。今後も維持していく。	学教	
		実績値	0件	1件	0件					
		数値目標の達成度	○	△	○					
	【KPI】パソコン1台あたり児童生徒数 6.1人(H26) → 2人(H31)	計画値	5.3人	4.5人	3.7人	2.9人	2人	・KPIであるパソコン1台あたり児童生徒数は6.0人で計画値に達しなかった。	学教	
		実績値	6.1人	5.6人	6.0人					
		数値目標の達成度	△	△	△					
	【KPI】 運動が好きな児童(小学校5年生)の割合 男子81.5%、女子56.4%(H27)→男女とも全国平均以上(H31)【H29.3月変更】	計画値	—	男女とも全国平均以上	男女とも全国平均以上	男女とも全国平均以上	男女とも全国平均以上	・運動が好きな児童(小学校5年生)の割合、男子78.9%・女子64.4%で、運動がやや好きを含めると男子94.5%・女子93.1%となり、男子の全国平均(93.3%)・女子の全国平均(87.3%)をともに上回っており、目標を達成している。今後も維持していく。	学教	
		実績値	—	男子平均以上 女子平均以下	男女とも全国平均以上					
		数値目標の達成度	◎	○	◎					
教育の 充実	1) 不登校・ひきこもり等への対応の充実 不登校の早期対応と、ひきこもりがちな青少年やその家庭への支援等について地域ぐるみの細かい対応を行うため、学校復帰の支援のための地域ネットワークの整備を推進します。 ・わかば学級運営事業	推進	→	→	→	→	<H29取組内容と進捗状況> ・わかば学級に通学する生徒数:17人 ・不登校・ひきこもり等に関する相談件数:204件 <課題> ・家庭の環境・状況により、子どもに及ぼす影響があるため、中央女性子ども相談センター等の専門機関と連携を図る必要がある。 <H29→H30戦略の改善見直し箇所> ・継続して事業を実施する。	・不登校・ひきこもりの児童生徒が抱える問題に対応するため、必要に応じ専門機関等と連携を取りながら、問題解決に向けた対応をしていく。	学教	A
	2) いじめ・校内暴力対策の充実 いじめ問題に悩む子どもや保護者等に対して、電話相談窓口を設けることにより、いじめの予防や早期対応・早期解決を図ります。また、近年増加傾向にある学校だけでは解決できない問題に対し早期対応できる窓口として、石井町教育委員会内にスクールカウンセラーを設置します。 ・いじめ相談ダイヤル事業 ・スクールカウンセラー報酬	推進	→	→	→	→	<H29取組内容と進捗状況> ・いじめ等に関する個別相談件数:180回 ・各学期始めに、各小学校の朝会で、カウンセラーの教育相談の周知やいじめについて等の講話、各幼稚園の参観日で家庭教育の重要性についての講演を行った。 <課題> ・学校・家庭・地域や関係機関との連携に努め、全ての大人が一体となった取組が必要である。 <H29→H30戦略の改善見直し箇所> ・継続して事業を実施していく。	・いじめ問題に対応するため、学校・家庭・地域や関係機関との連携に努め、引き続き問題解決に向けた対応をしていく。	学教	A
【KPI】不登校児童生徒数(小学校・中学校) 13人(H26) → 0人(H31)	計画値	10人	7人	4人	2人	0人	・不登校児童生徒数(小・中学校)は17人で目標に達しなかった。問題を抱える児童・生徒への家庭訪問を27回実施した。家庭訪問を繰り返し実施することで、不登校の児童生徒数の減少を目指す。	学教		
	実績値	15人	16人	17人						
	数値目標の達成度	△	△	△						
【KPI】いじめ認知件数(小学校) 5件(H26) → 0件(H31)	計画値	4件	3件	2件	1件	0件	・件数が減少し目標を達成した。スクールカウンセラー等を活用し、学校・家庭・教育委員会が連携し、いじめの認知件数の減少を今後も目指す。	学教		
	実績値	3件	7件	2件						
	数値目標の達成度	◎	△	◎						

基本目標1 子どもを産み育てやすい環境と移住・定住の促進

項目	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					H29取組内容と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		H27	H28	H29	H30	H31				
移住・定住支援	1) 既存の住宅ストックによる住まいの確保 既存の住宅ストックの利活用により移住・定住希望者の住まいの確保を図るため、空き家及び住宅のリフォーム等工事費の補助を行い、移住・定住希望者等のニーズに応じた整備を推進します。  ・空き家リフォーム助成事業費補助金 ・住まいのリフォーム応援事業補助金	推進	→	→	→	→	<p>&lt;H29取組内容と進捗状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家リフォーム助成事業費補助金:2件(うち加算対象(町外からの移住者):2件)</li> <li>・住まいのリフォーム応援事業補助金:20件(うち加算対象(改修後多世帯同居):1件)</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内外からの問い合わせが6件あったにもかかわらず、空き家リフォーム助成事業費補助金は2件にとどまった。本事業を活用することで、本町にある空き家住宅に住んでもらい、移住希望者へ住まいの確保を図る。</li> </ul> <p>&lt;H29→H30戦略の改善見直し箇所&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して事業を推進していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家のリフォームについては、継続して制度の周知を行う。また、制度利用者に対して、事後の聞き取り調査を行い、利用しやすい制度体制を検討する。</li> <li>・住まいのリフォームについては、これまでの事業を継続する。</li> </ul>	建設	B
	2) 町営住宅によるセーフティネットの確保 老朽化が進む町営住宅に関しては、セーフティネットとしての役割を果たせるよう統廃合や耐震化等、住民のニーズに応じた整備を推進します。  ・公営住宅ストック総合改善事業 ・町営住宅等整備事業	推進	→	→	→	→	<p>&lt;H29取組内容と進捗状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・城ノ内住宅団地北棟・南棟の耐震診断が完了した。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化が進む町営住宅(城ノ内住宅団地・北石井住宅団地)に対し、計画的に耐震化・長寿命化等の整備が必要である。</li> </ul> <p>&lt;H29→H30戦略の改善見直し箇所&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して事業を推進していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公営住宅については、公営住宅長寿命化計画に即しながら、公営住宅の耐震化を進める。城ノ内住宅団地北棟・南棟については、長寿命化改修工事設計業務(H30)、長寿命化改修工事(H31)を予定している。</li> </ul>	福祉	A
	3) 増加する空き家への対策 空き家等の実態把握を行い、石井町に適した空き家対策のあり方について大学と連携し調査検討を行います。 住民生活の安心と安全を確保するため、空き家の適正管理を推進し、管理不全な状態にある空き家の是正を図ります。 空き家相談体制の充実、人材育成等により、空き家所有者を支援します。利用可能な空き家等については、移住・定住希望者への住まいや創業希望者の店舗等としての活用や人の流れを創出につながる施設としての利活用を検討します。  ・石井町空家等対策事業 ・空き家再生等促進事業 ・空き家判定士等活用事業	実施	→	→	→	→	<p>&lt;H29取組内容と進捗状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家等の所有者に対し、現在の利用状況や今後の予定、移住希望者や創業希望者への住宅ストックとして利活用すること等に対する意向調査をアンケート形式で行った。 調査対象者:467名 回答者:263名(回答率:56.32%) 実施期間:H29.6月~7月 回答結果の集計・分析結果を石井町空家等対策協議会にて報告し、所有者のニーズに合った空き家対策事業の検討・協議を行った。</li> <li>・空き家バンクの開設について、当初の事業計画では石井町独自で空き家バンクサイトを開設・設置することとしていたが、外部からの検索にヒットしやすい情報網の広さと、サイトの開発や維持管理に必要な経費を抑えられることから、民間の大手宅建事業者が国のモデル事業認定を受けて開設・運営を行う「全国版空き家バンク」を活用する方法に変更し、平成29年11月にサイトの整備が完了した。これに続いて空き家所有者へのダイレクトメールにより空家バンク登録希望者の募集を行った。</li> <li>・また、空き家バンクの管理専用パソコンを購入した。</li> <li>・地域住民、学識経験者及び専門家等が参画する空家等対策協議会を二回開催し、空き家対策事業に関する検討・協議を行った。 協議会開催日:H29.6.8 H30.2.23</li> <li>・空き家対策の啓発用パンフレットを1,000部作成した。役場や公民館等の公共施設に設置したほか、空き家に関する相談時に配布した。</li> <li>・空き家対策事業の一層の推進を図るため、官学連携協定に基づき相互協力関係にある四国大学に『空き家の存在と地域の社会経済との関連性の解明』をテーマに研究委託を行い、石井町における空き家の現状分析及び社会経済状況との因果性からアプローチすべき本町の課題等について四国大学からの提言を受け、空き家対策事業の検討課題とした。</li> <li>・倒壊の危険性が高く、また倒壊時において接面道路を閉塞する恐れのある危険な空き家(老朽危険空き家)の除却に所有者が要した費用の一部を補助し、平成29年度は3件の除却を実施した。</li> <li>・空き家をリノベーションし、人々の交流及び各種活動の拠点として提供する地域交流スペースとして活用・運営する団体に対し、リノベーションに要した費用の一部を補助し利活用の推進を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家の適正な維持管理の必要性や、財産の利活用に対する情報発信と啓発を最優先すべき課題であると捉え、根気強く取り組む。</li> <li>・平成30年度に、空き家所有者及び今後空き家となる予定の家屋等の所有者を対象とした空き家相談会を実施する。応談には弁護士、税理士、宅建士など空き家所有者それぞれの問題に応じたアドバイスができる専門家が対応する。</li> <li>・空き家バンクについては、平成29年度にサイト設置等の環境が整ったため、30年度以降は空き家物件登録を随時行い、利活用の推進を図る。</li> <li>・また、空き家所有者に対しては今後も定期的に空き家バンクへの登録募集を行うほか、空き家利用希望者には空き家リフォーム助成制度等、メリットを感じられる制度等をバンクサイト上に掲載するなど、空き家所有者、利用希望者双方に対して石井町空き家バンクの存在が認知され、利用が促進されるよう、PRと啓発に力を入れる。</li> </ul>	総政	A

基本目標1 子どもを産み育てやすい環境と移住・定住の促進

項目	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					H29取組内容と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価	
		H27	H28	H29	H30	H31					
移住・定住支援 1 住まいの確保							<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽危険空き家の除却に対する補助を行うにあたり、とくしま地方創生空き家判定士による空き家判定業務を実施し、倒壊の危険性及び倒壊時における接面道路閉塞についての診断を受けた。</li> <li>＜課題＞</li> <li>・空き家等の所有者に対して実施した意向調査の結果、所有者の多くが自己の所有する空き家に対し、今後の「維持管理・利活用・処分」といった方針を具体的には持たれていない状況にあることから、空き家の適切な維持管理についての所有者の義務を知っていただき、その上で空き家を今後どうしていくのかを考えていただくよう丁寧な情報提供と啓発が課題である。また、「維持管理や利活用の必要性は理解しているが、方法がわからない」という声も多くあった。これに対しては、維持管理、利活用のそれぞれについて具体的な方法を情報提供し、所有者に検討して頂く必要がある。</li> <li>・空き家所有者への意向調査と大学による学術研究の成果を基に、本町の実情に沿った効果的な空き家対策事業を企画・検討し、計画的かつ継続的に推進することが課題である。</li> <li>・空き家バンクの運用についても、空き家所有者に対しバンクの登録募集をおこなっているが、反応は少ない。空き家利活用の有効なツールとして空き家バンクをPRし、認知度を高めていくことが課題である。</li> <li>・空き家バンクを活用して移住者を獲得していくためには、移住先の検討にあたって、空き家リフォームやその他助成制度など自治体ごとのメリットを比較検討することはおおきな要素であるため、空き家情報に併せて本町の各種助成制度等をPRすることも重要と考える。</li> <li>・老朽危険空き家の除却補助や空き家リノベーション補助については、国・県等の交付金等を活用して実施しており、毎年の交付金等の確保の状況で実施可能件数が大きく変わり一定しないため、計画が立てづらいことが課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽危険空き家の除却、空き家リノベーションへの補助事業については、今後も計画的に実施していくものとし、国及び県への財源（交付金等）の要望を継続して行う。</li> </ul>			
		【KPI】空き家住宅の活用件数 －(H26) → 30件(H27～H31 累計)【H28.9月変更】	計画値	—	4件	7件	8件	10件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・KPIである空き家住宅の活用件数は15件で、目標を達成した。(住宅ストック:14件 地域交流スペースへのリノベーション:1件)</li> </ul>	建設 総政	
			実績値	1件	2件	15件					
			数値目標の達成度	△	△	◎					
		【KPI】中古住宅の活用件数 －(H26) → 90件(H27～H31 累計)【H28.9月変更】	計画値	—	15件	16件	15件	15件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・KPIである中古住宅の活用件数は20件で目標を達成している。</li> </ul>	建設	
			実績値	29件	20件	20件					
			数値目標の達成度	◎	◎	◎					
		【KPI】耐震基準に適合した公営住宅の割合 4.76%(H26) → 10.53%(H31)	計画値	—	—	7.2%	9%	10.53%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・KPIである耐震基準に適合した公営住宅の割合は10.53%で、計画値を達成した。</li> </ul>	福祉	
			実績値	5.00%	5.26%	10.53%					
			数値目標の達成度	—	—	◎					
	【KPI】 空き家バンク登録件数:25件(H29～H31累計)	計画値	—	—	5件	10件	10件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・KPIである空き家バンク登録件数は0件で、目標に達しなかった。</li> </ul>	総政		
		実績値	—	—	0件						
		数値目標の達成度	—	—	×						
	【KPI】 空き家を活用して移住した世帯数:15世帯(H27～H31累計)	計画値	1件	2件	3件	4件	5件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家を活用して移住した世帯数は11件で、計画値を達成した。</li> </ul>	総政		
		実績値	1件	4件	11件						
		数値目標の達成度	◎	◎	◎						

# 基本目標1 子どもを産み育てやすい環境と移住・定住の促進

項目	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					H29取組内容と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		H27	H28	H29	H30	H31				
移住・定住支援 2 情報発信	1) 移住・定住に関する情報発信 町の自然や文化、観光情報等と合わせて、定住・移住支援に関する施策情報を載せたパンフレットの作成や、ホームページ内に移住情報コーナーを立ち上げる等、移住・定住に関する情報発信を行うことにより、新たな人の流れの創出を図ります。  ・移住・定住促進事業 ・移住支援金交付事業(仮称)	推進	→	→	→	→	<H29取組内容と進捗状況> ・H29年度は町として初めて移住フェアに参加した。(H29.10.13開催:徳島県移住相談会(大阪)、H29.11.12開催:四国暮らしフェア(東京)、H29.11.25開催:もう一つのふるさと探しフェア(大阪)) ・移住相談件数:23件(面談20件、電話2件、郵便1件) ・移住定住情報サイトを更新した。 <課題> ・県外で移住フェアに参加したが、他の市町村は工夫をこらし魅力的なブースを構えていた。本町についても、まずは来場者が石井町に興味を持ってもらい、話を聞いてもらう工夫が必要と感じた。 ・県の移住担当者や移住コンシェルジュ等と連携し、移住希望者がほしい情報の発信・魅力づくりが必要である。 <H29→H30戦略の改善見直し箇所> ・継続して事業を実施する。	・移住フェアで石井町の魅力が発信できるように工夫が必要である。 ・H30年度より石井町移住交流支援センターを設置した。移住に関するワンストップ相談窓口を目指す。 ・県担当者や移住コンシェルジュと連携し、移住希望者に向けて情報の発信を行う。	総政	A
	【KPI】移住相談件数 0件(H26) → 10件/各年(H31)	計画値	10件	10件	10件	10件	10件	・移住相談件数は23件であり、計画値に達した。	総政	/
		実績値	6件	10件	23件					
	数値目標の達成度	△	◎	◎						

## 外部評価委員からの意見

- ・石井町はいろいろな施策をしており、若いお母さんから「とても助かっている。」「ありがたい。」と話を聞く。その反面、感じることはハード面は凄く充実して子育てに対して優しいが、果たしてこの優しさが子供の幸せになっているのかと考えると、親は幸せかもしれないが、子供はそうではないのかもしれない。園で子供達を遅くまでみてもらい、家に帰ると団欒があると思うのだが、家ではお母さんは携帯ばかり見ていたりとか。また、昔はオムツを取るのには家庭が普通であり、しつけも家庭でするのが当たり前であった。しかし、最近はオムツは保育所・幼稚園で取ってもらえばいい、しつけも保育所・幼稚園ですてもらえばいいと言う話を聞く。町のいろいろな施策を活用する事はいい事だが、保護者が保護者としての関わる事が子供にとって一番大切だと思う。ハード面も大事だが、精神的・内面的に保護者を支えていく事も大切だと思う。
- ・両親ともに働いており、学童に行っている子供は学童でコミュニティができています。働きたくても働けないお母さんがいる家庭の子供は学童に入れない。昔は地域で異年齢の子供達が集まり遊びを覚えていたが、今はそういう場所がなくなっている。分館ではシニア世代の方がいろんな事をされている。その方達に指導員や支援員になっていただき、地域で見守るような形ができれば、働くお母さんだけでなく、異年齢の子供達と遊ばせたいお母さん達も地域で子供達を育てていく事ができるのではないかと思います。
- ・学童の希望者が増えているのは県内どこも同じだ。働くお母さんが増えているからだ。これはひと・しごと・まちの効果であり、仕事が増えている。求人は増えているので働く環境を整えれば働きたいと思うお母さんは、小さい子供の育児に一段落付いた学齢期を持つ家庭に多い。石井町は地域のコミュニティがしっかりしている、温かいエリアと理解していたが、意外とそうではないのか。都会化しているのか。
- ・石井町にはボランティア連絡協議会があり、ボランティアグループが60から65団体くらいある。それぞれの団体さんは子育てについて非常にしっかり手伝っていただいている。しかし、夕方の子供達についてはなかなかできていないように思う。
- ・子育ての法律の第1条には「家庭基本」と書いてある。もう1つは子供達を「放っておいても大丈夫な町」というのが理想の町である。子供達だけで置いておくと都会とは言わないまでもリスクが起きる現状がある。見守りのソフトウェアを地域で構築していく必要がある。それを公がするのか地域のネットワークとするのか、あるいは中間の組織とするかなど、いろいろな議論をするべきである。
- ・学童や放課後教室で子供を預かっただけなのは非常にありがたい。自営業をしているため時間がなかなか取れない。石井町の子育て支援は非常にありがたい。今後も利用させていただこうと思う。
- ・待機児童がゼロである。これは大いに胸を張る事だ。学童の議論が出たが、待機児童ゼロを大きく評価し、学童については今後議論していただきたい。
- ・いろいろな市町村が基本目標を立てているが、基本目標の1つ目に子育て支援が入っているのは珍しい。それだけ石井町の意気込みが感じられる。

基本目標2 暮らしやすい生活環境の形成

項目	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					H29取組内容と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価	
		H27	H28	H29	H30	H31					
地域基盤の整備	1) 幹線道路、都市計画道路の整備・充実 町の道路網の骨格となる幹線道路等の円滑な通行と安全を確保するための整備促進に向けて、国・県への整備の要請を継続します。 ・県営事業負担金(石井南島線改良事業費の10分の1を負担)		推進	→	→	→	→	<H29取組内容と進捗状況> ・石井中学校、名西高校の通学路であり、石井駅へのアクセス道路となる石井南島線を県の施工により改良中であり、国・県への整備の要望を行った。 <課題> ・都市計画道路石井南島線改良工事の早期完成を目指す。 <H29→H30戦略の改善見直し箇所> ・継続して事業を推進する。	・県との協力のもとこれまでの事業を継続し、都市計画道路石井南島線の改良事業を推進する。	建設	B
	2) 地域内道路の整備・充実 地域交通の円滑化、防災性の向上、歩行空間の確保等を図るため、町道の新設や拡幅、歩道未設置部分の解消、橋梁の長寿命化等の整備を行います。 ・町道新設改良事業 ・町道石井123号線改良事業 ・橋梁長寿命化対策事業 ・町道石井50号線改良事業 ・町道高川原33号線改良事業 ・生活道路改良事業		推進	→	→	→	→	<H29取組内容と進捗状況> ・町道石井123号線改良事業では、延長140mの舗装工事を実施し、全区間の工事を完了した。 ・町道石井50号線改良事業では、延長240mの改良工事、延長70mの舗装工事を実施した。 ・町道高川原33号線改良事業では、八坂橋の旧橋撤去、橋台2基について施工し、橋脚工に着手した。 ・長寿命化対策事業では、一丁地東橋・御所地橋の橋梁補修工事に着手した。 ・定期点検事業では、131橋について点検が完了した。 <課題> ・町単独事業での道の新設は難しいため、社会資本整備総合交付金の確保が必要である。 <H29→H30戦略の改善見直し箇所> ・継続して事業を推進する。	・事業を継続し、着手している事業は早期の完成、新設改良が必要な道路についても早期着工を目指す。 ・橋梁の長寿命化についても、計画に基づき円滑に進める。 ・社会資本整備総合交付金を確保できるように国県等へ要望を強める。 ・生活道路の拡幅改良を行い、通学児童を含む社会的交通弱者をはじめ道路通行の安全性を確保する。	建設	A
	【KPI】都市計画道路総延長km数 2.2km(H26) → 3.0km(H31)	計画値	2.4km	2.5km	2.7km	2.8km	3.0km	・KPIである都市計画道路総延長km数は2.2kmで目標を達成できなかった。都市計画道路の一部である県道34号線(石井町役場東側道路)の改良が進んでいる。引き続き県に対し整備の要望を行う。	建設		
		実績値	2.2km	2.2km	2.2km						
		数値目標の達成度	△	△	△						
	【KPI】町道改良済km数 135.7km(H26) → 140.0km(H31)	計画値	136.6km	137.4km	138.3km	139.1km	140.0km	・KPIである、町道改良済km数は136.4kmで目標に達しなかった。現在、町単独での事業実施は難しい。国・県より補助を受け事業実施ができるよう、引き続き県等に要望を行う。	建設		
実績値		136.1km	136.2km	136.4km							
数値目標の達成度		△	△	△							
2 土地利用の明確化	1) 区域区分の見直し 区域区分設定時に比べ幹線道路の整備が進んだこと等により、土地利用に変化が生じている箇所について、町のより一層の発展を目指した土地利用のあり方の検討を進めます。		検討	→	→	→	<H29取組内容と進捗状況> ・H27実施に実施した区域区分の変更による影響が最も大きいと思われる市街化農地所有者459名への郵送による意識調査の結果(回答率:36.4%)を踏まえ検討中である。 <課題> ・アンケート結果では町民の意見が二分されている。個人財産への影響が大きいため、町として方向性を決めるための検討が必要である。	・町の発展を促すことができるような、区域区分を検討していかなければならない。	建設	B	
	【KPI】区域区分の見直し -(H26) → 検討(H27~H31)	計画値	検討	検討	検討	検討	検討	・意識調査の結果を踏まえ検討中である。	建設		
		実績値	検討	検討	検討						
		数値目標の達成度	△	△	△						

基本目標2 暮らしやすい生活環境の形成

項目	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					H29取組内容と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		H27	H28	H29	H30	H31				
安心・安全の確保 1 防災対策の推進	<p>1) 災害に強いまちづくりの推進 台風時に備えたさらなる河川改修に向けた国・県への要望活動の継続や、木造住宅の耐震診断・改修を推進します。 各種災害発生時に備え、避難所の備蓄の充実や、災害情報を迅速に伝達できるシステムとして、同報系防災行政無線の整備が完了しました。今後は本システムの適切な管理・運用に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木造住宅耐震化推進事業</li> <li>・民間建築物耐震化支援事業</li> <li>・災害時用物資購入事業</li> <li>・家具転倒防止対策推進事業</li> <li>・ブロック塀等撤去支援事業</li> </ul>	実施	→	→	→	→	<p>&lt;H29取組内容と進捗状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木造住宅耐震診断件数:28件</li> <li>・木造耐震改修件数:9件</li> <li>・住み替え支援件数6件</li> <li>・耐震シェルター設置支援件数:2件</li> <li>・家具転倒防止対策事業実施件数:39件</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震改修の申込件数が昨年度に比べ増加している。受付予定件数を増やす必要がある。</li> </ul> <p>&lt;H29→H30戦略の改善見直し箇所&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震診断の実績が耐震改修工事につながるよう耐震診断の受付件数を増やすとともに耐震化の重要性を様々な広報により周知したい。</li> </ul>	<p>・現在の取り組みを継続しながら、耐震化支援事業の充実・強化や、大規模地震などに備えるまちづくりに取り組んでいく。</p>	防災	A
	<p>2) 災害対応力の向上 石井町の主催する防災訓練の継続・発展により、住民の災害対応能力の向上を図ります。また、地域防災交流センターを拠点とした学習会・防災講座等の開催や、未組織地域の組織化の推進により、自主防災組織等の育成と活性化を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練事業</li> <li>・地域防災組織育成事業</li> <li>・石井町防災士会補助金</li> </ul>	実施	→	→	→	→	<p>&lt;H29取組内容と進捗状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災士会主催の防災講座開催回数:3回(延参加人数:124人)</li> <li>・自主防災会主催のAEDの取り扱い含む普通救命講習(54人)</li> <li>・自宅から石井中学校までの避難訓練のほか、起震車による地震体験や避難所開設訓練、医師会による緊急医療所開設訓練、小学生による防災学習発表や非常食の提供等の防災訓練・体験を実施した。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人の入れ替わりの激しいマンション等、新たに引っ越してきた住民の自主防災組織加入が進んでいない。</li> </ul> <p>&lt;H29→H30戦略の改善見直し箇所&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織連絡会等を通じて、地区毎の抱える課題を把握し、防災啓発活動及び未加入世帯の住民に対し自主防災組織への加入呼びかけ等を行っていく。</li> </ul>	<p>・自主防災組織の充実強化に努め、石井町防災士会と連携しながら、共助力の向上に努める。</p>	防災	B
	<p>【KPI】国・県に対する河川改修の要望を実施 -(H26) → 継続(H27~H31)</p>	計画値	継続	継続	継続	継続	継続	<p>・国・県に対し河川改修の要望は継続して実施している。</p>	建設	
	実績値	継続	継続	継続						
	数値目標の達成度	○	○	○						
	<p>【KPI】個別受信機の整備 0か所(H29) → 5か所(H29~H31累計)</p>	計画値	—	—	0か所	2か所	5か所	<p>・KPIである戸別受信機の整備については計画値を達成している。</p>	防災	
	実績値	—	—	2か所						
	数値目標の達成度	—	—	◎						
	<p>【KPI】災害時の非常食備蓄率(主食) 50%(H26) → 50%/各年(H27~H31)</p>	計画値	50%	50%	50%	50%	50%	<p>・KPIである災害時の非常食備蓄率(主食)については50%で計画値を達成している。</p>	防災	
	実績値	50%	50%	50%						
数値目標の達成度	○	○	○							
<p>【KPI】防災訓練参加者延人数 1,009人(H26) → 2,000(H31)</p>	計画値	1,200人	1,400人	1,600人	1,800人	2,000人	<p>・KPIである石井町防災訓練参加者延人数は1,260人で計画値に達しなかった。</p>	防災		
実績値	1,222人	1,350人	1,260人							
数値目標の達成度	◎	△	△							
<p>【KPI】自主防災組織率 86.7%(H26) → 100%(H31)</p>	計画値	89%	92%	94%	97%	100%	<p>・KPIである自主防災組織率は85.3%で目標に達しなかった。さらに幅広く学習会の開催等自主防災組織の育成と活性化を図り、組織率の向上を目指す。</p>	防災		
実績値	86.90%	86.90%	85.30%							
数値目標の達成度	△	△	△							

基本目標2 暮らしやすい生活環境の形成

項目	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					H29取組内容と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		H27	H28	H29	H30	H31				
2 防犯対策の推進	1) 防犯灯のLED化 防犯灯を視認性の良いLED照明に変更することにより、夜間の犯罪防止や通行の安全確保に努めます。また、消費電力の少ないLED照明の促進により、環境に配慮した取り組みとします。 ・防犯灯整備費 ・防犯灯管理費 ・LED照明導入促進事業						<H29取組内容と進捗状況> LED化の行っていない防犯灯19基中9基をLED化及び新設のLEDの防犯灯を21基設置した。 <課題> 未だ10基がLED化を行っていない。 <H29→H30戦略の改善見直し箇所> 継続して事業を推進していく。	・平成29年度にLED化できなかった防犯灯については、平成30年度以降に随時更新し設置率100%に近づけるよう目指す。	福祉	A
	【KPI】LED防犯灯の設置率 18.7%(H26) → 100%(H31)	計画値	20%	100%	100%	100%	100%	・LED照明導入促進事業においてLED化できなかった19基のうち9基をLED化した。	福祉	
		実績値	23%	98.9%	99.3%					
	数値目標の達成度	◎	○	○						
安心・安全の確保 3 保健・医療・福祉の充実	1) 健康診査・訪問指導等の推進 健康診査や訪問指導等の健康増進事業の充実を図ることにより、保健・医療・福祉が一体化したサービスの提供を行います。特に、我が国の死因第一位であるがんについては、各種がん検診や精密検診未受診者の受診率の向上、健診未受診者対策を推進します。 ・健康診査費 ・特定健康診査等事業 ・特定健康診査未受診者対策事業 ・早期介入保健指導事業						<H29取組内容と進捗状況> メタボリックシンドローム該当者及び予備群を見つけるため、保険者は40～74歳の方を対象に健康診査を実施した。生活習慣病予防のため、年に1回健康チェックを行うことにより、高血圧・糖尿病・脂質異常症等の異常を早期発見し、重症化予防に努めた。 ・特定健診受診率向上のため、個別通知のほか、各種団体等周知の強化を行った。 ・がん検診(集団検診)と特定健診の同時実施を行い、受診機会の拡大を図った。 ・過去に1度も受診していない人で、医療も介護も受けていない方を抽出し、受診勧奨を行った。 ・30～39歳の人にヤング健診を実施し、若い頃からの生活習慣病予防の動機づけを図った。 ・特定健康診査受診者数: 1,412人、受診率 34.8 % ・特定保健指導実施者数: 140人、実施率 69.3% ・早期介入保健指導実施者数: 6人、実施率 60 % ・集団健診及び個別健診により、各種がん検診を無料で実施した。 ・各種がん検診の精密検診未受診者対策として、受診勧奨通知を年2回実施した。 <課題> ・がん検診受診者の固定化が見られる。がん検診の未受診者対策の一層の強化を図る必要がある。 ・特定健診の受診率は、徐々に上昇してきたが、H28(35.5%)で、目標数値50%を下回っているため、更に受診率向上に向けた取組をすることがある。 ・糖尿病が原因で人工透析となる人が増加傾向にある。このため、糖尿病性腎症重症化予防の取組が必要である。 <H29→H30戦略の改善見直し箇所> ・精密検診の受診勧奨については、受診勧奨を強化し、実績の向上が得られたため、対策を継続する。 ・住民健診システムにより、がん検診未受診者の抽出を行い、再通知を検討する。 ・特定健康診査受診率向上を図るため、定期的に通院している人に対し、医療機関からも受診勧奨を依頼する。 ・特定健康診査自己負担額1,000円を試験的に無料とし、受診率の底上げを図る。 ・糖尿病性腎症重症化予防の取組を強化するため、名西郡医師会の協力を得て連携を行う。(特に糖尿病未治療者・治療中断者・腎機能の急速低下者のフォローを行う。)	・H29年度からの取組を継続しつつ、特定健康診査受診率向上に向けた取組を展開する。 ・糖尿病性腎症重症化予防の取組と医療との連携を強化する。 ・各種がん検診の受診機会の提供と費用負担を継続する。 ・がん検診の未受診者に対し、受診勧奨を強く受診率向上を目指す。	健増	B
	2) 予防接種の接種機会拡充 町内及び広域医療機関において、いつでも接種できる体制を維持することにより、感染予防・健康増進を図ります。さらに、インフルエンザ予防接種については、高校受験を控えた中学校3年生を対象として町独自の助成を行います。 ・予防事業(各種定期予防接種(個別接種)の実施) ・結核予防事業						<H29取組内容と進捗状況> ・国の定めた定期予防接種について、乳幼児から、児童・生徒・高齢者と幅広い世代に個別医療機関において、予防接種委託を実施し費用負担した。 ・中学3年生をもつ保護者205人に対し、インフルエンザ予防接種費用の助成を実施した。(申請者数110人) ・結核検診は、40歳以上の肺がん検診と同時に実施し、乳児BCG接種者数は170人、接種率は102.4%であった。 ・高齢者インフルエンザ予防接種の費用助成を施設や町外医療機関での接種も対象とした。 <課題> ・感染予防のため、接種率を向上させることが必要である。 <H29→H30戦略の改善見直し箇所> ・継続して事業を推進していく。 ・高齢者インフルエンザ周知のため、初めて対象となる65歳の方へ接種勧奨はがきを送付する。	・乳幼児健診時、母子健康手帳で接種状況を確認する。未接種の予防接種がある場合は保護者にわかりやすく説明、接種勧奨を行う。 ・個別通知や接種勧奨のリーフレット配布を適切な時期に実施する。 ・医療機関に対し、適切なスケジュール管理の実践を依頼する。	健増	B

基本目標2 暮らしやすい生活環境の形成

項目	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					H29取組内容と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		H27	H28	H29	H30	H31				
3 安心・安全の確保 保健・医療・福祉の充実	<p>3) 介護予防・介護サービスの充実 要支援・要介護に至る前段階からの連続的で一貫性のある介護予防サービスの提供に努め、高齢者の在宅生活を支える生活支援サービスの充実を図るための新たな事業として「介護予防・日常生活支援総合事業」に取り組みます。 さらに、介護ニーズに的確に対応するための人材確保・育成に努めるとともに、利用者が一人ひとりに合ったサービスが選択できるよう、各種サービスに関する情報発信を行います。 ・介護予防・生活支援サービス事業 ・包括的支援事業 ・地域ケア会議推進事業</p>						<p>&lt;H29取組内容と進捗状況&gt; 要支援認定者数:472人 要介護認定者数:1,268人</p> <p>&lt;課題&gt; 要介護認定者数が増加しているため、介護予防の推進が必要である。</p> <p>&lt;H29→H30戦略の改善見直し箇所&gt; 介護予防のより一層の推進を目指す。</p>	<p>・介護予防を推進するため、新規事業である地域ケア会議推進事業を有効に活用する。 ・理学療法士の派遣により、活動グループが増えている「いきいき百歳体操」を活用し、介護予防に努める。</p>	長寿	B
	<p>4) 障がい者とその家族への相談体制の充実 本人や家族への一時的窓口機能とともに、保健・医療・福祉に関するサービスの実施や専門機関への紹介等の機能を備え、障がいの種別や年齢を問わず利用できる総合相談体制の充実を図ります。 ・相談支援事業</p>						<p>&lt;H29取組内容と進捗状況&gt; ・現在、相談支援専門員等の資格を持った職員を有する事業所に対し、相談支援事業を委託しており、障がい福祉サービス等の利用援助、社会資源を活用するための支援、社会生活力を高めるための支援、権利擁護のために必要な援助を行うことで、障がい者の自立と社会参加の促進を図っている。また、地域にお住まいの障がい者やそのご家族が石井町の委嘱を受け、経験や知識を活かしながら障がいに関するさまざまな相談支援を行う、障がい者相談員設置事業を実施している。</p> <p>&lt;課題&gt; ・さらなる相談しやすい体制の確立及び虐待防止センター機能の充実を図る。</p> <p>&lt;H29→H30戦略の改善見直し箇所&gt; ・障がい者基幹相談支援センターを設置し、障がい者支援体制の充実を目指していく。</p>	<p>・関係機関との連携を密にし、相談者への的確な援助、社会資源<sup>*</sup>の開発・改善を推進していく。 (※社会資源とは障がい者が、ニーズを充足したり、問題解決するために活用される各種の制度・施設・機関・設備・資金・物質・法律・情報・集団・個人の有する知識や技術等の総称。)</p>	福祉	A
	<p>【KPI】各種がん検診受診率 乳がん17.6%、胃がん12.3%、肺がん16.3%、大腸がん18.1%、子宮頸がん28.5%、前立腺がん24.3%(H26) → <b>各50%以上 前年度実績より上昇(H31)</b>【H30.10月変更】</p>	計画値	乳24% 胃20% 肺23% 大24% 子33% 前29%	乳31% 胃27% 肺30% 大31% 子37% 前35%	乳37% 胃35% 肺36% 大38% 子41% 前40%	前年度実績より上昇	前年度実績より上昇	<p>・KPIである各種がん検診受診率は、乳がん19.3%、胃がん13.1%、肺がん17.8%、大腸がん15.1%、子宮頸がん32.6%、前立腺がん20.8%となり、計画値に達しなかった。 ・ここに上がる実績は市町村が実施したがん検診のみであり、数値目標の設定が困難なためKPIを変更する。</p>	健増	
		実績値	乳16.7% 胃12.6% 肺17.2% 大16.3% 子27.9% 前24.7%	乳16.8% 胃11.7% 肺16.3% 大15.8% 子28.5% 前24.3%	乳19.3% 胃13.1% 肺17.8% 大15.1% 子32.6% 前20.8%					
		数値目標の達成度	△	△	△					
	<p>【KPI】メタボリックシンドローム該当者及び予備軍 該当者20.5%、予備軍13.1%(H25) → <b>該当者15%、予備軍10% 前年度実績より減少(H31)</b>【H30.10月変更】</p>	計画値	該当者19% 予備軍12.5%	該当者18% 予備軍12%	該当者17% 予備軍11.5%	前年度実績より減少	前年度実績より減少	<p>・KPIであるメタボリックシンドローム該当者及び予備軍はそれぞれ22.2%及び14.3%となり、計画値に達しなかった。 ・メタボリックシンドロームは個人の生活改善の結果と、集団の健康状態の改善により評価されることから、長期的な取組が必要であり単年度の計画値で評価困難のためKPIを変更する。</p>	健増	
		実績値	該当者21.8% 予備軍12.6%	該当者20.8% 予備軍13.8%	該当者22.2% 予備軍14.3%					
		数値目標の達成度	△	△	△					
	<p>【KPI】高齢者相談延件数 11,180件(H26) → 12,000件(H31)</p>	計画値	11,340件	11,500件	11,670件	11,840件	12,000件	<p>・KPIである高齢者相談延件数の実績は14,747件で計画値11,670件を上回った。</p>	長寿	
		実績値	12,012件	13,727件	14,747件					
	数値目標の達成度	◎	◎	◎						
<p>【KPI】障がい者相談延件数 1,366件(H26) → 1,500件(H31)</p>	計画値	1,395件	1,420件	1,445件	1,470件	1,500件	<p>・KPIである障がい者相談延件数は3,139件で計画値を大きく上回った。これは相談窓口の存在と利用方法が広く浸透したためと考えられる。</p>	福祉		
	実績値	1,636件	2,020件	3,139件						
	数値目標の達成度	◎	◎	◎						

基本目標2 暮らしやすい生活環境の形成

項目	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					H29取組内容と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		H27	H28	H29	H30	H31				
地域コミュニティの形成 1 地域活動の運営支援	1) 高齢者の生きがいの創出 高齢者が生きがいをもって暮らせるよう、様々なニーズに対応した生涯学習の充実や閉じこもり予防のための社会参加の促進等により、地域に主体的に関わり社会参加することを通して、幅広いコミュニティ活動の活性化を図ります。 ・老人クラブ活動等事業	推進	→	→	→	→	<H29取組内容と進捗状況> ・老人クラブ単組数・・・36クラブ ・老人大学参加者数・・・500人 ・体育大会参加者数・・・550人 <課題> ・高齢者人口が年々増加しているにもかかわらず、老人クラブの会員数が平成28年度に横ばいになり平成29年度には減少に転じている。老人クラブの各活動にも低迷の兆しがある。 <H29→H30戦略の改善見直し箇所> ・従来の事業を継続して推進していくだけでなく、重点事業を見直し、会員増強に取り組む。	・老人クラブは、町の連合会や各地区単位において、会員全員で取り組む大きな活動に重点を置いていたが、これからは、自らの生活圏に近い単位クラブのサロン活動にも力を入れていく。	長寿	B
	2) ボランティアセンターの充実 ボランティア活動へのきめ細やかな情報提供等により、地域住民の自主的な活動の育成・支援を図り、各種分野のボランティア活動に「いつでも・どこでも・だれでも」参加できる地域風土の醸成を目指します。 ・石井町ボランティアセンター運営事業補助金	推進	→	→	→	→	<H29取組内容と進捗状況> ・ボランティアに関する相談 298件（うち、ボランティア活動相談79件、ボランティア募集相談 64件、その他 155件） ・石井町ボランティアセンターだよりの発行 年1回 ・第20回石井町ボランティアフェスティバル開催（開催日平成29年10月16日） ・石井町社会福祉協議会ホームページ、社協だより及び有線放送等を活用し、講座、行事、地域ボランティア活動、福祉情報、災害関連情報等の広報をした。 ・ボランティア教育等を実施するうえで町内の小中学校、各種団体より相談された内容について、学校、地域ボランティア、福祉施設等と連絡調整を行った。 ・ボランティア活動における行事を開催するために、機材を提供し、資料やチラシ作成の支援を行った。 <課題> ・ボランティア連絡協議会加入団体の登録が伸び悩んでいる。誰もがボランティア活動に参加しやすい体制づくりが必要である。 <H29→H30戦略の改善見直し箇所> ・事業を継続して行うとともに、活動強化や新事業に取り組む。	・ボランティア団体の相談支援体制の充実により、さらなるボランティア団体の育成に務める。	福祉	B
	【KPI】老人クラブの加入者数 1,927人(H26) → 2,000人(H31)	計画値	1,940人	1,955人	1,970人	1,985人	2,000人	・KPIである老人クラブのか加入者数は1,970人で計画値を達成できていない。	長寿	
		実績値	1,901人	1,903人	1,805人					
		数値目標の達成度	△	△	△					
【KPI】ボランティア連絡協議会加入団体数 66団体(H26) → 66団体(H31)	計画値	66団体	66団体	66団体	66団体	66団体	・ボランティア連絡協議会加入団体は、1団体増加の64団体になったが、計画値は達成できていない。	福祉		
	実績値	66団体	63団体	64団体						
	数値目標の達成度	○	△	△						

外部評価委員からの意見

・がん検診の指標作りだが、指標の取り方が変わり非常に細かい指標を取らざるを得なくなったようだが、これの最終目標は何なのかと言う事に立ち返ると、検診を受けることによりがんを初期の段階で発見し重篤な状態になる人を減らすという事が最終的な目標である。そのためには病院や保健所でその検査を受ける方の割合を増やさないといけない。雇用されている方は会社で受ける。自治体は自営業者の方々の受診率を上げる施策をしないといけない。これらの方に重点的に広報をするなどして受けてもらわないといけない。KPIを受診者/対象者にするなど、整理が必要だ。5年間同じ指標を取る必要はない。事情があれば柔軟に変えて構わない。

・生活環境の形成と言う事で、喫緊の課題として災害への対応がある。ブロック塀の補助が戦略に追加されている。石井町では津波の心配はないので東南海地震では被害は少ないと思われる。しかし、中央構造線に近いのでこの地震による被害は大きくなるかもしれない。その事からも災害対策の向上を目指してほしい。その面からも町内の自主防災会に対し町がバックアップしてもらいたい。石井町は人の入れ替わりがあり、徳島市へ勤めに行く割合が増えて地元で長くいる人の割合が減っている。石井町は都市化している。そうすると子育てや防災の地域力が弱くなる。そうなるとうちでも官の負担が大きくなるので、そうならないためにも自主防災会が大事になる。

基本目標3 産業の振興と雇用の場の創出

項目	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					H29取組内容と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価	
		H27	H28	H29	H30	H31					
新産業の創出	1) 企業誘致の推進 地方拠点化税制を活用し、既存企業及び大都市から本社機能の移転・拡充等による本町への企業誘致を推進します。また、町独自の優遇制度や徳島県の優遇制度を活用できるよう関係機関と連携し、企業が進出しやすい環境を整備します。		推進	→	→	→	→	<p>&lt;H29取組内容と進捗状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年7月31日に企業立地促進法が一部改正し、地域未来投資促進法に改められ、改正前では企業立地(工場等の施設の新増設)が税制等の支援対象であったものが地域の特性を活かして高い付加価値を創出し、相当の経済効果を及ぼすことにより地域における経済活動を牽引する事業(地域経済牽引事業)の支援へと拡充されたことに伴い、本町もこれに対応して条例の一部改正を行い、幅広い業種への固定資産税等の支援措置を可能とした。</li> <li>石井町版企業誘致パンフレットを作成し、県外企業への町長のトップセールス等に活用している。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>以前から町として企業誘致を目的とした用地を確保しておらず、町内の土地の多くは耕作地であるため、進出を計画する企業は、地権者からの用地買収や土地造成等を全て最初から行わなければならないため、時間とコストの面からも敬遠される傾向にある。</li> <li>都市部の企業の多くは、そもそも石井町の存在すら知らないため、進出計画の候補地のテーブルにすら上がりづらい。現在実質的な外部への情報発信手段が徳島県の企業誘致支援サイトのみとなっており、平成29年度には情報発信ツールとして石井町版企業誘致パンフレットを作成し、外部セールスに役立ててはいるものの、状況を大きく変えられるものではないため、一層の工夫で情報発信力を強化することが課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業跡地や一定の面積規模を有し、開発要件を満たすことで、用地となり得る休耕地等の情報を地権者から事前に収集しておき、立地を検討している企業に情報提供するなど、企業が立地しやすい環境を整える。</li> <li>従来までの企業誘致に向けた取り組みに加え、県外企業への「石井町」の情報発信に一層努める。</li> </ul>	総政	B
		【KPI】本社機能の移転数 → 1件(H27～H31累計)	計画値	→	→	→	→	1件	<ul style="list-style-type: none"> <li>KPIである本社機能の移転数は1件で計画値を達成した。これは本町にタキイ種苗と徳島大学とで共同研究する施設ができた。平成30年10月24日のまち・ひと・しごと創生推進会議において研究機関についても本社機能であるとの意見をいただいた。それに基づき実績に入れた。</li> </ul>	総政	
			実績値	0件	0件	1件					
			数値目標の達成度	△	△	◎					
		【KPI】新規企業の誘致数 → 1件(H27～H31累計)	計画値	→	→	→	→	1件	<ul style="list-style-type: none"> <li>石井町の認知度が低いこともあり、立地に関する相談もあまりないため、情報発信の努力が必要である。</li> </ul>	総政	
			実績値	0件	0件	0件					
		数値目標の達成度	△	△	△						
2 創業・起業支援	1) 創業・起業支援の推進 石井町商工会をはじめとする創業支援事業者と連携し、セミナー・研修会等の開催、アドバイザーの派遣、「ワンストップ相談窓口」の設置等により、地域特性を活かした産業開発や起業の支援を行います。また、徳島県東部定住自立圏で実施するコミュニティビジネスの起業を目指す人を対象としたセミナーの活用を進め、地域産業の活性化を図ります。 ・石井町商工会運営事業補助金 ・コミュニティビジネス起業支援事業負担金 ・石井町創業促進事業補助金		実施	→	→	→	→	<p>&lt;H29取組内容と進捗状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>石井町商工会の創業支援チームによる相談会等を実施</li> <li>創業支援セミナーの開催(石井町商工会):参加者30名</li> <li>女性起業塾の開催(徳島県):参加者1名</li> <li>創業セミナーの開催(とくしま産業振興機構):参加者2名</li> <li>イブニングセミナーの開催(徳島ニュービジネス協議会):参加者3名</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>セミナーや相談を受けてもなかなか実際の創業には繋がらないため、関係機関と一体となり継続した支援が必要である。</li> </ul> <p>&lt;H29→H30戦略の改善見直し箇所&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>H29年度から実施している石井町創業促進事業補助金も含め、広報を強化しながら継続して事業を推進していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>石井町創業促進事業補助金の周知を行いつつ、石井町創業支援事業計画の「特定創業支援事業」を受けた際に受けられる支援等の広報を強化し、事業を継続していく。</li> </ul>	産経	B
		【KPI】創業・起業者数 → 25人(H27～H31累計)	計画値	5人	5人	5人	5人	5人	<ul style="list-style-type: none"> <li>連携機関等の相談支援・セミナー受講者による創業・起業者は3人でKPIの計画値を達成しなかったが、把握していない創業・起業者がいる可能性もある。</li> </ul>	産経	
			実績値	3人	2人	3人					
		数値目標の達成度	△	△	△						

基本目標3 産業の振興と雇用の場の創出

項目	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					H29取組内容と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		H27	H28	H29	H30	H31				
地域産業力の強化 1 農業の振興	<p>1) 優良農地の確保と活用 優良農地の集積や農地流動化の推進により、農業経営におけるコストの低減と省力化、農地の高度利用促進を図ります。また、夏作物と秋冬作物を合理的に組み合わせた作付体系の確立や、耕作放棄地や不作付地の解消による農地の有効利用を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機構集積協力金交付事業</li> <li>・農地中間管理事業</li> <li>・耕作放棄地対策事業</li> </ul>	推進	→	→	→	→	<p>&lt;H29取組内容と進捗状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機構集積協力金交付事業：6名</li> <li>・機構集積協力金交付事業（町単分）：3名</li> <li>・本町の農地の集積・集約化の促進及び農業振興に資することを目的に、地中間管理事業による農地の集積・集約化（に協力する農業者等）に対し、機構集積協力金の支援合わせて、町単分の補助金制度を制定した。</li> <li>・耕作放棄地の所有者（178人）に対し利用意向調査を行い、耕作放棄地の解消に取り組んだ。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農地が将来にわたり継続して耕作されることは、農業後継者を育て、地域の景観を守るためにも極めて重要である。</li> </ul> <p>&lt;H29→H30戦略の改善見直し箇所&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して事業を推進していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地中間管理事業により、農用地の利用効率化などを促進し、農業経営の規模拡大、集団化及び新規参入の促進を図ります。</li> <li>・農地の集積・集約化に協力する農業者等に対し、機構集積協力金の支援と合わせた町独自の支援を行う。</li> </ul>	産経農委	B
	<p>2) 農業経営の規模拡大 農業用機器の導入支援や、農業経営基盤強化資金の活用等により、農業力の強化や規模拡大の支援を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・融資主体補助型経営体育成支援事業</li> <li>・農山漁村未来創造事業補助金</li> </ul>	推進	→	→	→	→	<p>&lt;H29取組内容と進捗状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業経営基盤強化資金利子補助助成金：1件</li> <li>・融資主体補助型経営体育成支援事業補助金：2件</li> <li>・農業用機械・施設の導入支援や、農業経営基盤強化資金の活用等により、地域の中心経営体に対し、農業力の経営強化を図る支援を行った。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的な周知が必要。</li> </ul> <p>&lt;H29→H30戦略の改善見直し箇所&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して事業を推進していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業経営規模の拡大や、農産物の加工、流通、販売等の多角化等に取り組む際に必要となる農業用機械等の導入支援をしていく。</li> <li>・制度の周知については、担い手に対し、支援センター、JA等と連携し補助事業等の相談・支援を行う。</li> </ul>	産経	B
	<p>3) 特産品の開発 地域ブランドの育成による農業の活性化を図るため、本町の特性を活かした新しい農産物や加工品の開発等の意欲的な取り組みを支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石井町特産品開発チャレンジ事業（新規作物及び新栽培技術導入チャレンジ事業、農産物加工チャレンジ事業）</li> <li>・藤色野菜販路開拓事業補助金</li> <li>・農山漁村未来創造事業補助金（再掲）</li> </ul>	推進	→	→	→	→	<p>&lt;H29取組内容と進捗状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規作物及び新栽培技術導入チャレンジ事業補助対象者：6者</li> <li>・補助対象の6者で紫カリフラワ－の試験栽培を実施。</li> <li>・東京で開催された徳島・香川トモニ市場「秋の大収穫祭」、農業・農村ギャラリー「おつごもり市」、大阪で開催された「JA・JF近畿四国商談会」に出展し、物販や商談等を行った。徳島・香川トモニ市場「秋の大収穫祭」には、チャレンジ事業を実施している生産者も参加し、生産者自らが「藤やさい」のPRを行った。</li> <li>・県内で開催された「地方創生エキスポ」、「マッチングフェスタ」、「食材フェア」、「徳島短編映画祭」に出展し、物販を通じ「おいしいの藤やさい」のPRを行った。</li> <li>・フジグラン石井で開催された「ふじっこちゃんわくわく土曜日」に2回参加し、物販・試食を通じた「おいしいの藤やさい」のPRを行った。</li> <li>・徳島県農山漁村未来創造事業では、JA名西郡が実施したほうれんそう雨除け施設（パイプハウス）の整備事業及びソフト事業に対し、補助金を交付した。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担い手農家、県、JA等と連携しながら、各種事業を活用し支援する必要がある。</li> </ul> <p>&lt;H29→H30戦略の改善見直し箇所&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して事業を推進していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ブランドの育成や意欲のある農業者等に支援を続けていく。</li> <li>・徳島版「地方創生特区」に指定されたことから、アグリサイエンスゾーンとの連携や農工商連携による特産品の開発を支援する。</li> <li>・「ほうれんそう」の産地再生を目指し、平成30年度も農山漁村未来創造事業を活用し、雨除けパイプハウスの整備を行う計画である。</li> </ul>	産経	A
	<p>4) 「農」を中心とした産業集積の検討 徳島大学生物資源産業学部（石井農場）、徳島県立農林水産総合技術支援センターといった農業に関連の深い「官」「学」の拠点が立地する本町の個性を活かせるよう、関係機関と連携体制を構築し、「農」を中心とした産業集積の検討を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「徳大連携」学生地域活動支援事業補助金</li> <li>・次世代育成・6次産業化等推進事業</li> <li>・石井町特産品開発チャレンジ事業（再掲）</li> <li>・藤色野菜販路開拓事業補助金（再掲）</li> <li>・産地収益力の強化に向けた総合的推進事業補助金</li> </ul>	推進	→	→	→	→	<p>&lt;H29取組内容と進捗状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町、徳島県、徳島大学、JA、商工会、農業関連企業、農業者団体等で構成する石井町農業振興連絡協議会を開催した。</li> <li>・タウン誌・飲食店との連携し「おいしいの藤やさい」を使った限定メニューを提供。</li> <li>・農産物品評会に合わせて、県のキッチンカーを借り上げ、紫カリフラワ－を使った料理の実演、試食を行いPRを行った。</li> <li>・徳島大学生物資源産業学部アグリクラブによる地域活動の実施（農大祭・農産物品評会・わくわく土曜日への参加）【産業集積】</li> <li>・産地収益力の強化に向けた総合的推進事業補助金を活用し、浦庄地区にみのるファーム株式会社の高度環境制御栽培施設が完成した。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関との連携強化をしていく。</li> </ul> <p>&lt;H29→H30戦略の改善見直し箇所&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して事業を推進していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産官学の連携を強化し農業集積や6次産業化に向けた取り組みを継続する。</li> <li>・「おいしいの藤やさい」は、紫カリフラワ－の販路が拡大しているため、平成30年度において、生産者、作付面積を増やす計画である。</li> </ul>	産経	A

基本目標3 産業の振興と雇用の場の創出

項目	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					H29取組内容と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価	
		H27	H28	H29	H30	H31					
地域産業力の強化	1 農業の振興	【KPI】農地中間管理機構への仲介件数 1件(H26) → 30件(H27～H31 累計)	計画値	6件	6件	6件	6件	6件	・KPIである農地中間管理事業仲介件数は14件で目標を達成している。	産経	
			実績値	10件	7件	14件					
			数値目標の達成度	◎	◎	◎					
	【KPI】農地中間管理機構を利用し集約化した農地面積 0.3ha(H26) → 12ha(H27～H31 累計)	計画値	2.4ha	2.4ha	2.4ha	2.4ha	2.4ha	・農地中間管理機構を利用し集約化した農地面積は2.6haで目標を達成している。	産経		
		実績値	3.6ha	1.3ha	2.6ha						
		数値目標の達成度	◎	△	◎						
	【KPI】農地に再生された荒廃農地の面積 2ha(H26) → 6ha/各年(H27～H31)	計画値	6ha	6ha	6ha	6ha	6ha	・農地に再生された荒廃農地の面積は、3.0haで計画値に達しなかった。	農委		
		実績値	2.9ha	5.5ha	3.0ha						
		数値目標の達成度	△	△	△						
	【KPI】特産品開発数 1件(H27) → 2件(H28～H31 累計)【H28.8月変更】	計画値	1件	→	→	→	2件	・特産品開発件数は、0件で目標に達しなかったものの、平成31年度までに「おいしいの藤やさい」の特産品化を目指し今後も販路拡大等の支援を継続していく。	産経		
		実績値	1件	0件	0件						
		数値目標の達成度	○	△	△						
2 地域産品の販路拡大	1) 町内企業の販路拡大 石井町商工会等と連携し、町内企業の市場調査や新規需要の開拓を支援するとともに、ITの活用やイベント開催による販路拡大を図ります。 ・石井町商工会運営事業補助金(再掲)	推進	→	→	→	→	<H29取組内容と進捗状況> ・ふじっこちゃんわくわく土曜日開催回数:12回 ・ふじっこちゃんわくわく土曜日出展事業者:100事業者(延べ) ・農業・食品製造見学会バスツアー・マッチング事業(2コース)の実施(75名参加) ・大阪・東京にて石井町商工会による物産展を開催(9月大阪千里ニュータウン、11月東京府中、11月東京池袋、12月大阪千里ニュータウン) ・藤野菜料理メニュー試作・試食会の開催 ・藤野菜料理レシピ作成 ・おいしいブランド化認定制度の策定および第1回認定審査会の開催 ・石井町ふじっこちゃん宝くじ141の開催(加盟店127店舗) ・ふじっこちゃんわくわく土曜日は、町内で最も集客のあるフジグラン石井で開催した。 <課題> ・ふじっこちゃんブログ、石井町フェイスブック、町HP等のITを活用し販路拡大のための周知が必要である。 <H29→H30戦略の改善見直し箇所> ・広報を強化しながら継続して事業を推進していく。	事業を継続しながら、町内企業の商品等の質を向上させる。また、ふじっこちゃんブログ、石井町フェイスブック等のITを活用することで、町内企業の販路拡大を図る。	産経	A	
	2) 農産物の販路拡大 農業生産グループ等の町内外イベント出店による直販体制の拡充や、徳島東部地域の連携による地域特産物のブランド化や地産地消の推進により、農産物の販路拡大を図ります。 ・地産地消推進事業負担金 ・農業祭事業 ・次世代育成・6次産業化等推進事業(再掲) ・藤野菜販路開拓事業補助金(再掲)	推進	→	→	→	→	<H29取組内容と進捗状況> ・とくしま食材フェア参加団体:1団体 ・ふじっこちゃん土曜日出店農業者団体:60団体(延べ) ・平成29年度も農産物品評会に特産品チャレンジ事業で取り組んだ藤やさいの出店、加工品の試食(無料)を実施した。 ・大阪府で開催された「JA・JF近畿・四国商談会」にJA西郡が紫カリフラワーでブース出展。関西方面のスーパーや飲食店への販路を獲得した。 <課題> ・多数の方の来客に向け周知及び広報が必要。 <H29→H30戦略の改善見直し箇所> ・広報を強化しながら継続して事業を推進していく。	農業生産グループ等の町内外イベント出店による直販体制の拡充や、徳島東部地域の連携による地域特産物のブランド化や地産地消の推進により、農産物の販路拡大を図る。 ・「JA・JF近畿・四国商談会」には平成30年度も出展を計画している。	産経	A	

基本目標3 産業の振興と雇用の場の創出

項目	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					H29取組内容と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価	
		H27	H28	H29	H30	H31					
地域産業力の強化	【KPI】展示会・商談会への参加支援 1件(H26) → 5件(H27~H31累計)	計画値	1件	1件	1件	1件	1件	・KPIである展示会・商談会への参加支援は5件で目標を達成している。	産経	/	
		実績値	1件	2件	5件						
		数値目標の達成度	◎	◎	◎						
	【KPI】農産物品評会延べ出品数 123点(H26) → 200点(H31)	計画値	140点	155点	170点	185点	200点	・KPIである農産物品評会出品数166点で数値目標を概ね達成できた。10月の長雨の影響で野菜不足であったにもかかわらず、計画値に近い出品があった。	産経	/	
		実績値	165点	206点	166点						
		数値目標の達成度	◎	◎	○						
観光・交流産業の振興	1) 四銀いしいドーム及び都市公園の整備 平成22年度より指定管理者による管理運営を行っている「四銀いしいドーム」については、民間事業者のノウハウを活かし、健康増進拠点としてより一層の充実を図ります。また、前山公園や園内に四銀いしいドームのあるOKいしいパーク（飯尾川公園）については、利用者のニーズに応じ、さらに快適で安心して利用できる“憩いの空間”としての機能の充実を図ります。 ・いしいドーム備品管理費 ・飯尾川公園いしいドーム指定管理料 ・都市公園管理費、都市公園整備費	計画値	推進	→	→	→	→	<p>&lt;H29取組内容と進捗状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トレーニングマシン導入(3機種)した。</li> <li>・OKいしいパークフットサル場5周年記念事業を行った。</li> <li>・前山公園屋内運動場バスケットゴールを修繕した。</li> <li>・野球用スコアボード、ベース、ライン引きを買い換えた。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前山公園の体育館、いしいドーム共に設備の老朽化が顕著であり、雨漏り、ドアの不具合等がみられる。これらの修繕を段階的に行っていく必要がある。</li> </ul> <p>&lt;H29→H30戦略の改善見直し箇所&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数の少ないOKいしいパークにある「わんぱく広場」の有効利用の検討を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いしいドームについては、老朽化した設備(プール棟のロッカー、トレーニングマシン)の入替のため予算要望を引き続き行う。</li> <li>・平成30年度中に前山公園体育館のカーテンを修繕する予定である。</li> </ul>	建設社教	A
		実績値	推進	→	→	→	→				
	2) 文化財の保護 先人が大切に育んできた貴重な財産を守り、地域の歴史・文化を継承するため、「阿波国分尼寺跡」史跡整備等の文化財の整備を推進するとともに、文化財ウォーキングなど地域文化を活用したイベントの開催によりふるさとを愛する心の醸成と交流人口の拡大を推進します。 ・文化財保護活動事業 ・「阿波国分尼寺跡」史跡整備事業 ・町内遺跡遺構確認事業	計画値	推進	→	→	→	→	<p>&lt;H29取組内容と進捗状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふる里の歴史を学ぶ会歴史講座参加者数:446人</li> <li>・花之家花奴面劇展入場者数:500人</li> <li>・井ノ元遺跡現地説明会来場者数:200人</li> <li>・山ノ神古墳現地説明会来場者数:200人</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・例年、文化財ウォーキングまたは発掘現場の説明会を行っている。参加者が増えるよう魅力的なイベント開催及び情報発信を目指す必要がある。</li> </ul> <p>&lt;H29→H30戦略の改善見直し箇所&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して事業を推進していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石井町の文化財の調査及び歴史教育、地域交流をボランティアと協力し魅力的なイベント開催を行う。</li> <li>・また、近隣の自治体と協力して歴史文化の啓発、広報に努める。</li> <li>・町ホームページ、CATV、広報誌等を活用し積極的に広報・周知を行う。</li> </ul>	社教	B
		実績値	推進	→	→	→	→				
【KPI】四銀いしいドーム利用者延人数 179,495人(H26) → 190,000人(H31)【H30.2月変更】	計画値	179,600人	179,700人	189,900人	189,950人	190,000人	・KPIである四銀いしいドーム利用者延人数は186,656人で目標を概ね達成している。	社教	/		
	実績値	180,674人	189,864人	186,656人							
	数値目標の達成度	◎	◎	○							
【KPI】現地説明会、歴史講座の参加者数 550人(H26) → 600人(H31)	計画値	560人	570人	580人	590人	600人	・KPIである現地説明会、歴史講座の参加者数は1,346人で目標を達成している。	社教	/		
	実績値	470人	564人	1346人							
	数値目標の達成度	△	○	◎							

基本目標3 産業の振興と雇用の場の創出

項目	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					H29取組内容と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		H27	H28	H29	H30	H31				
観光・交流産業の振興	<p>1) 観光資源の活用 町の花である「藤」を観光資源として活用するとともに、毎年開催している「藤まつり」の魅力向上を図ります。また、「桜まつり」「ふじっこちゃん夏まつり」「冬のイルミネーション」等の季節ごとにイベントを開催し、観光客の呼び込みや交流人口の拡大を推進します。</p> <p>さらに、観光パンフレットの作成やホームページの観光情報ページの充実等、情報発信の強化に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>石井町商工会補助金(藤まつり事業、桜まつり事業、イルミネーション事業)</li> <li>石井町ふじっこちゃんまつり補助金</li> <li>観光ガイドブック等作成事業</li> <li>一般諸費(観光費)</li> </ul>	推進	→	→	→	→	<p>&lt;H29取組内容と進捗状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>桜まつり入込客数:4,000人</li> <li>藤まつり入込客数:22,000人</li> <li>石井町納涼夏まつり入込客数:12,000人</li> <li>冬のイルミネーション入込客数:13,000人</li> <li>石井町観光ガイド、おいしい特産品ガイドブック、幸せの三寺めぐりウォーキングマップ等の観光パンフレット作成。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新たな観光資源の発掘と効果的な周知が必要である。</li> </ul> <p>&lt;H29→H30戦略の改善見直し箇所&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>継続して事業を推進していく。</li> </ul>	ICTやメディア等をうまく活用し、観光パンフレットの内容も充実させながら、継続して事業に取り組む。	産経	B
	<p>2) スポーツを通じたレクリエーションイベントの開催 誰もが楽しく参加できるウォーキング大会やスポーツ教室等のイベント、各種スポーツ・レクリエーション団体の活動の成果発表等を目的とした大会の開催等により、スポーツを通じた町内外からの交流人口の拡大を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いしいウォーキング大会補助金</li> <li>石井町親子サッカー教室運営事業補助金</li> <li>スポーツ教室運営事業</li> <li>国体記念少年相撲大会運営事業補助金</li> </ul>	推進	→	→	→	→	<p>&lt;H29取組内容と進捗状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いしいスポーツクラブ事業</li> <li>いしいウォーキング大会参加者:159人</li> <li>石井町親子サッカー教室参加者:約300人</li> <li>スポーツ教室参加者:約12,000人</li> <li>国体記念少年相撲大会は台風のため中止となった。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツを通じて町内外からの交流人口の拡大を推進するため、住民のニーズに答え、幅広い世代が参加できるスポーツ教室の運営が必要である。</li> </ul> <p>&lt;H29→H30戦略の改善見直し箇所&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>継続して事業を推進する。</li> </ul>	今後も住民のニーズに応えられるよう住民の声に耳を傾け、教室の新設等に取り組む。	社教	A
	<p>3) 広域連携による取り組みの推進 徳島県東部定住自立圏の連携により、県外や県内親子向けの観光モニターツアー等の観光開発を推進し、圏域全体の観光振興を図ること、本町の観光資源の魅力向上や交流人口の増加を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>徳島東部地域DMO負担金</li> </ul>	推進	→	→	→	→	<p>&lt;H29取組内容と進捗状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>徳島東部地域の市町村を巡り、特産品等が当たるスタンプラリーの実施。</li> <li>徳島東部地域15市町村及び民間事業者が連携し、官民一体となった観光戦略による観光地域づくりを推進する一般社団法人イーストとくしま観光推進機構の設立。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>広域連携によるメリット感のある連携事業の実施が必要である。</li> <li>定住自立圏のPR強化を進める。</li> </ul> <p>&lt;H29→H30戦略の改善見直し箇所&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>広報体制の強化、見直しを進める。</li> </ul>	一般社団法人イーストとくしま観光推進機構と連携して官民一体となった観光戦略による観光地域づくりを推進していく。	産経 総政	A
	<p>4) ふるさと納税制度を活用した交流の推進 ふるさと納税制度を活用し、石井町の魅力を積極的にアピールし、町出身者をはじめとする町外在住の石井町を応援したいと思っている方たちとの連携を深め、活力ある地域づくりを進めます。</p> <p>また、町内の事業所等の協力を得て、石井町内で生産・製造されている特産品を寄附のお礼の品として活用し、全国に向けて特産品のPRをするとともに、特産品を通じた石井町のファン獲得につなげます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと石井応援事業</li> </ul>	推進	→	→	→	→	<p>&lt;H29取組内容と進捗状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年4月に返礼品を79品目とし、平成29年11月には100品目とした。</li> <li>「移動図書館車購入支援」を使い道に追加し寄附を募った。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>寄附者の獲得、また寄附件数増加に伴い、事務負担の効率化が必要である。</li> </ul> <p>&lt;H29→H30戦略の改善見直し箇所&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>継続して事業を推進していく。</li> </ul>	寄附件数を増やすため、平成30年9月より楽天にも掲載した。 また、納税業務を効率化を図るため、ふるさと納税業務を株式会社新朝プレスに委託した。 今後もふるさと納税を通じて石井町のPRに努めていきたい。	総務	A
	<p>【KPI】観光入込客数 50,000人(H26) → 80,000人(H31)</p>	計画値	60,000人	65,000人	70,000人	75,000人	80,000人	KPIである観光入込客数は51,000人で計画値に達しなかった。	産経	
	実績値	61,000人	86,000人	51,000人						
	数値目標の達成度	◎	◎	△						

基本目標3 産業の振興と雇用の場の創出

項目	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					H29取組内容と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		H27	H28	H29	H30	H31				
観光・交流産業の振興	【KPI】スポーツ教室・大会等参加者 7,445人(H26) → <del>12,000人</del> 14,500人(H31)【H30.10月変更】	計画値	7,460人	7,470人	12,000人	<del>12,000人</del> 14,500人	<del>12,000人</del> 14,500人	・KIPであるスポーツ教室・大会等参加者は14,013人で目標を達成している。これはマラソンブームの影響により、マラソン教室の参加者が伸びたためである。 ・参加者の増加に伴い、スポーツ教室・大会等参加者のKPIを変更した。	社教	
		実績値	9,236人	12,141人	14,013人					
		数値目標の達成度	◎	◎	◎					
	【KPI】ふるさと納税件数 14件(H26) → 3,000件(H31)【H30.2月変更】	計画値	500件	625件	2,000件	2,500件	3,000件	・KIPであるふるさと納税件数は、1,839件で計画値を概ね達成し、寄付総額は30,055,900円であった。 ・設定金額の変更等の影響で寄附件数、寄付金額が減少した。	総務	
		実績値	957件	5,947件	1,839件					
		数値目標の達成度	◎	◎	○					
人材の確保・育成	1) 農業従事者の育成 農業協同組合や県農業支援センターにおける営農指導や、就農初期段階の青年就農者への給付等により、担い手の安定的な農業経営確立のための支援を行います。また、大学や農業研究機関等との連携や、農業後継者クラブによる小学生を対象とした農業体験事業の助成等により、後継者の発掘・育成を推進します。  ・青年就農給付金事業→農業次世代人材投資事業(事業名変更) ・農業後継者クラブ補助金	推進	→	→	→	→	<H29取組内容と進捗状況> ・農業次世代人材投資資金交付人数:9人 ・農業後継者クラブ会員数:14人 ・農業後継者クラブでは、月1回の会合のほか、夏まつりへの参加、町民農園の管理、ヘアリーベッチ(藤えもん)の実証実験を実施した。 <課題> ・農業後継者クラブの会員の増加の推進をし、農業次世代人材投資事業の効果的な周知をしていく必要がある。 <H28→H29戦略の改善見直し箇所> ・継続して事業を推進していく。	・平成29年度の制度変更により農業次世代人材投資資金の交付条件等が厳しくなっているため、青年就農者に対しきめ細かな対応を行う。 ・意欲ある青年就農者に対して経営開始型の農業次世代人材投資資金を交付することにより、農業後継者の育成に努める。	産経	B
		推進	→	→	→	→	<H29取組内容と進捗状況> ・経営指導員による相談指導延件数:1,436件 ・講習会開催による指導延人数:313人 ・金融斡旋件数:18件 ・記帳継続指導実施件数:86企業 ・商工会加入事業者数は、485社で前年度より14社減少した。新規事業者の加入もあり、500社前後を保っているが、後継者不足や高齢のための廃業等、少しずつ減少している。 ・ふじっこちゃんわくわく土曜日、大阪・東京での物産展、農業・食品製造見学会バスツアー・マッチング事業、ふじっこちゃん宝くじ141などのイベントや、地域ブランド再構築のセミナー開催、地域ブランドコンセプトデザインの構築、いしいブランド認定を実施した。 <課題> ・経営状況の分析等を行い、効果的な支援が必要である。 <H29→H30戦略の改善見直し箇所> ・継続して事業を推進していく。	・経営状況の分析を行い、分析結果をふまえセミナー等の開催によるビジネスプランを策定し計画実行における支援策の紹介や実施結果のフォローアップに取り組む。またふじっこちゃん宝くじ141事業により町内での消費を喚起するとともに、商工会の加入を促進し、組織率の向上を図る。	産経	A
	【KPI】新規就農者数 2人(H26) → 10人(H27~H31 累計)	計画値	2件	2件	2件	2件	2件	・KIPである新規就農者数は0件で目標を達成しなかった。(新規就農の相談が4件あった。)	産経	
	実績値	4件	0件	0件						
数値目標の達成度	◎	△	△							
【KPI】展示会・商談会への参加支援(再掲) 1件(H26) → 5件(H27~H31 累計)								産経		

### 基本目標3 産業の振興と雇用の場の創出

項目	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					H29取組内容と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		H27	H28	H29	H30	H31				
人材の確保・育成 2 就労支援	1) 元気高齢者の就労支援 高齢者の生きがいの創出や地域社会の活性化に向けた人材確保のため、働く意欲を持つ高齢者に経験と能力を活かした就労の機会を確保するシルバー人材センターについて、広報活動の強化や仕事依頼の促進等、活動の充実に努めます。 ・シルバー人材センター運営事業	推進	→	→	→	→	<H29取組内容と進捗状況> ・シルバー人材センター職群別利用件数:単純作業1,099件 技能470件、事務1件 ・安全就業委員を設置し、継続して安全強化に努めている。 <課題> ・定年延長や再雇用等で企業に勤めるケースが増加しており、活動できる会員数の確保が困難になりつつある。 <H29→H30戦略の改善見直し箇所> ・単なる高齢者人口の増加で計画していたが、現実的に確保可能な就業人数を考慮し、事業の意義を見直す。	・シルバー人材センターは、賃金を得る就業の場という見方が強かったが、今後は経験と能力を生かして働ける生きがいづくりの場であることをアピールし、広報に努めていく。	長寿	B
	2) 障がい者の就労支援 障がい者がその適正と能力に応じて可能な限り雇用の場につくことができるよう支援を行い、自立に向かう足がかりとなるよう努めます。 ・障がい福祉サービス(就労継続支援(A型)及び就労移行支援分)	推進	→	→	→	→	<H29取組内容と進捗状況> ・就労継続支援(A型)利用者:16人(身体4人、知的4人、精神8人) ・就労移行支援利用者:2人(身体0人、知的1人、精神1人) KPIである就労継続支援(A型)及び就労移行支援の利用者数は18人で目標値は達成できなかった。 <課題> ・就労継続支援A型及び就労移行支援の支給決定者数は29人であったが、実際に利用した人数は18人とサービス利用に結びつかない方も一定数存在する結果となったため、障がい者本人の適性と能力に応じた雇用の場を提供できるようにする必要がある。また精神障がい者については、医療機関を利用している場合が多く、就労支援に当たって医療機関と連携を図ることも重要になる。 <H29→H30戦略の改善見直し箇所> ・相談支援事業所と連携し、継続して福祉的就労を希望する障がい者の自立支援を行う。	・障がい者本人の適性と能力に応じた雇用の場を提供し、自立に向かう足がかりになるよう努める。	福祉	B
	【KPI】シルバー人材センター就業延人員 8,277人(H26) → 8,880人7,600人(H31)【H30.10月変更】	計画値	8,400人	8,520人	8,640人	8,760人 7,600人	8,880人 7,600人	・KPIであるシルバー人材センター就業延人員は、7,647人で計画値を下回った。 ・60歳以上の方の就業形態の変化という社会的な変動要因を考慮し、KPIを変更する。	長寿	
		実績値	8,946人	8,997人	7,647人					
	数値目標の達成度	◎	◎	△						
【KPI】就労継続支援(A型)及び就労移行支援利用者延人数 15人(H26) → 30人(H31)	計画値	18人	21人	24人	27人	30人	・KPIである就労継続支援(A型)及び就労移行支援利用者延人数は18人で、計画値には達成しなかった。	福祉		
	実績値	20人	24人	18人						
	数値目標の達成度	◎	◎	△						

### 外部評価委員からの意見

・農家の方は自分たちが丹精込めて作った野菜はそのままの形で家庭に届けて食卓で使ってもらいたいという思いが強い。一方、売り手はいかに付加価値を付けて消費者に手に取ってもらおうか考える。6次産業化の永遠の課題は物を売ることに限らず、物をどう作るか、どう加工するかは考え方や根に持っていることが少しずつ違ってくるように思う。それが6次産業化の話が盛り上がらない原因の一つと思う。石井町は両方の産業に携わられている方がいるのでお互いの知恵により何とかならないものかと思う。

・「本社機能」についていろいろと調べた。具体的に何が本社機能なのか。例えば人事は本社です。だから人事をするための研修機関は本社機能になる。また、研究開発は本社直属の研究機関です。だからそれも本社機能になる。本社機能の移転と言うのは社長を連れて来ることでなく、その研修機関や研究施設を地方ですることができないかというアイデアのようだ。せっかく県立農業大学校があるので、種苗会社の研究機関や研修機関が来たらKPIを1とカウントできる。KPIは決まっているが解釈の問題だ。一定期間、研究者や関係者が滞在する事で交流人口を増やすという目的なので、住民票を移してもらえばもっといいが、住民票を移す事までは判定基準ではない。人口を呼ぶことで、そこで一定期間生活してもらえばその町で物を買ってくれる。税金の関係でもない。

・藤やさいについて。紫色にこだわらず、石井町には藤と言う観光資源がある。生産段階や品質によりスイートコーンや枝豆やほうれん草やいろいろな野菜を藤やさいとしてブランド化してほしい。今年も台風が直撃して夏場の農産物の収穫が不安手になっている。夏場の雨除けハウス栽培を推進してほしい。補助事業により頑丈なハウスを作った。そのおかげで今年は台風がきたがいい成果が上がっている。農産物の生産は台風などの気候変動に大きく左右される。こういう補助事業をどんどん推進し多くの農家さんに利用してもらいたい。

・何か1つ石井町のブランドマーク、例えばふじっこちゃんでもいいし、商工会の「石井一座」のマークでもいい。何か1つ作っておれば農産物でも工業製品でも6次産業化された製品でも、何にでもいけるのではないかな。個々が話をしても話が進まないの、どういうブランド名でいくかなど集まってみてほしいかなと思う。

・シルバー人材センターの現状は剪定等の需要はあるが実際に剪定ができる方が高齢化して減っている。ボランティアも一緒である。昔入ってくれた方が高齢化して新しい方が入ってくれないので人が減っている。

・総合技術支援センターに「6次産業化研究施設」がオープンした。6次化を狙った人材を育成しようと製品の商品化ができる施設だ。真空凍結乾燥機等、プロが見てもなかなかの施設と評価をいただいている。石井町の方はセンターが近いのできめ細かなご提言ができる。KPIに新商品の開発や6次化等があるので是非活用してもらいたい。